



報 会 窓 同 工 會

2015



校 歌

嶺は秀づる磐梯山
水は湛うる猪苗代
これぞ乾坤香霊の
精氣鍾り成る処

明治三十七春なかば
礎堅くきずかれて
星霜ここに幾かえり
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け
鶴を徽章に雄々しくも
至誠勤勞一すじに
進む健児の意氣高し

峙つ嶺は峻しくも
寄せ来る浪は高くとも
これ奮闘の活舞台
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

同窓会総会



関連記事

■ 同窓会事業報告 (平成26年10月～平成27年9月)

10月 3日 会計監査
 10月 8日 第3回役員会
 10月17日 会工電友会総会
 10月18日 同窓会総会 講演会
 10月18日 若松会工会総会
 11月 1日 2014會工同窓会報発行
 11月 3日 吹奏楽部定期演奏会
 11月14日 猪苗代会工会総会
 11月22日 職員クラブ祝賀会
 1月24日 会津美里会工会総会
 1月31日 第1回役員会 新年会
 2月27日 同窓会入会式 表彰式
 3月 1日 会工卒業式
 3月26日 会工職員クラブ送別会
 4月 3日 会工職員クラブ歓迎会
 4月 8日 会工入学式
 4月14日 創立記念講話
 講師 梅宮昭氏 (39A)
 5月16日 松江豊寿、春次翁顕彰法要
 5月30日 郡山会工会総会



6月13日 近畿会工会総会
 6月14日 京都会津会100周年会津藩
 土墓前祭
 6月19日 建友会総会
 6月20日 東京会工会総会
 6月21日 東海会工会創立50周年記念
 総会
 6月27日 会工美修会総会
 7月 4日 機友会総会
 7月18日 セラ友会総会
 8月 7日 第2回役員会 懇親会
 9月 2日 坂下会工会総会
 9月27日 いわき会工会総会

平成27年度会津工業高校同窓会総会は平成27年10月17日(土)、「ホテルいづみや」に於いて62名の同窓会員出席のもと開催されました。事業報告、会計決算報告につづき全議案可決承認されました。総会終了後、会津史学会副会長の大川原史郎氏 (S30E 卒) による記念講演、懇親会へと進み盛会に終了しました。



『会報2015発刊にあたって』

同窓会 会長 若狭 春生
 (昭38年窯業科卒)

同窓会の皆様お元気ですか。今年の夏は猛暑続きで大変だったことと推察致します。会津も連日の猛暑日でどれ程水分を取ったのか想像が出来ません。東日本大震災が発生して4年半、福島県は震災復興のみならず原子力災害により自宅に戻れず未だに避難生活を強いられる方がまだまだ多く本当に気の毒です。母校も耐震工事が行われており完了まで数年かかるということです。会津の観光は今年鶴ヶ城再建50周年でリニューアルし観光客は大幅戻ってきましたが震災前までには戻っておりません。農産物は米はじめ果樹まで全て放射線の影響はありませんが、しかし浜通りの海産物は試験操業を強いられて一部の魚しか出荷されておりません。全ての販売品は放射能検査をクリアした物ばかりです。どうぞ安心して福島県産の品々をお求め下さい。更に福島県産の日本酒が3年連続で金賞受賞蔵数日本一になり、特に会津産の清酒は人気が高く、酒を目当てに会津を訪れる観光客が増えています。

今年も10月の第3土曜日に同窓会総会を開催致しました。多くの同窓生が集い、校歌・応援歌を声高らかに歌い、青春の1ページを思い出しておられた様で、楽しい一時を過ごさせて頂きました。学校も創立113年を迎え、今年には会工祭が10月24日・25日に開催されました。今までは会

工祭開催時には同窓会より資金を援助していましたが、今回は同窓会も一歩前進して一つのブースに同窓会として、同窓会の発足から現在までのながれ、80・90・100・110周年記念事業の内容・全国の同窓生の状況と各支部の同窓会の状況・各同窓会事務局の所在と連絡先・役員名簿の表示など同窓会の活動と状況を掲示して在校生・教員・PTA・同窓生に理解を頂き多くの同窓生が同窓会活動に参加して頂きたく展示しました。去る6月21日に東海会工会総会が開催されました。その時、東海会工会創立50周年となり「東海会工会の生い立ち」と言う冊子を発行されました。その内容によれば昭和14年頃に同窓生が集い「会工同窓会東海支部」として64名で活動をしており、一時今次大戦で中断し、昭和39年に新たに東海会工会が結成されました。しかし現在は中京・関西方面に就職する者が激減し、同窓会を開催しても参加者が少なく、会員増強が悩みの種だと話されておられました。最後になりましたが、同窓生の皆さまには健康に留意され、今後も素晴らしい会津を思いつつ同窓会活動にご協力下さいますことをお願いしまして会報発刊の挨拶とさせて頂きます。

同窓会規約の改正について

〈現行〉

第7条 本部役員 本会に次の役員を置く

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 会 長 1 名 | 2. 副会長 3 名 | 3. 幹事長 1 名 | 4. 副幹事長 3 名 |
| 5. 幹 事 若干名 | 6. 監 事 3 名 | 7. 会 計 2 名 | |

〈改正〉

第7条 本部役員 本会に次の役員を置く

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 会 長 1 名 | 2. 副会長 3 名 | 3. 幹事長 1 名 | 4. 副幹事長 若干名 |
| 5. 幹 事 若干名 | 6. 監 事 3 名 | 7. 会 計 2 名 | |

役 員 改 選 に つ い て

次の新役員が総会に於いて承認されました。

	旧 役 員	新 役 員	
顧 問	吉田 一栄 (S20K)	吉田 一栄 (S20K)	留任
会 長	若狭 春生 (S38K)	若狭 春生 (S38K)	留任
筆頭副会長	藤田 晴史 (S40E)	藤田 晴史 (S40E)	留任
副 会 長	田中 健一 (S42E)	田中 健一 (S42E)	留任
副 会 長	栗城 和夫 (S42M)	渡部 洋子 (S32K)	新任
幹 事 長	木村 洋一 (S50K)	木村 洋一 (S50K)	留任
副 幹 事 長	荒川富士雄 (S43M)	佐藤 義之 (S42M)	新任
副 幹 事 長	浅田 誠 (S43E)	荒川富士雄 (S43M)	留任
副 幹 事 長	佐藤 満 (S56A)	浅田 誠 (S43E)	留任
副 幹 事 長		菊地 寿雄 (S48D)	新任

総会承認外の本部役員体制は本誌 48 ページに掲載



新役員あいさつ



感 謝 状 贈 呈

若松会工会総会にて山岸清会長が退任されました。多年にわたる同窓会役員としての功績を讃え、若狭同窓会会長より感謝状が贈呈されました。

平成27年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 平成26年10月1日～平成27年9月30日現在)

収 入 総 額	4,676,595円
支 出 総 額	3,760,178円
差 引 残 額	916,417円

◎収入の部

(単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘 要
繰 越 金	1,329,671	1,329,671	0	前年度繰越金
入 会 金	2,400,000	2,400,000	0	新入生 (240名×10,000円)
協 力 金	700,000	588,722	-111,278	会報協力金 (747件分、サラト経費933,858円を除く)
総 会 費	500,000	295,000	-205,000	総会 会費、御祝儀等の収入
雑 収 入	20,329	63,202	42,873	決算利息等
合 計	4,950,000	4,676,595	-273,405	

◎支出の部

(単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘 要
総 会 費	700,000	615,140	-84,860	総会関係経費
会 議 費	700,000	632,019	-67,981	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅 費	500,000	542,420	42,420	各支部総会時の旅費
事 業 費	800,000	806,266	6,266	広告代、各支部への助成
卒 業 記 念 費	150,000	153,000	3,000	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶 弔 費	50,000	0	-50,000	香典、弔電、花環代
消 耗 品 費	70,000	18,140	-51,860	事務用品、その他
印 刷 費	400,000	380,484	-19,516	会報印刷代 (6000部)
通 信 費	150,000	158,956	8,956	切手代、電話代
事 務 費	100,000	63,645	-36,355	コピーカウンター料、他
基 金 ・ 積 立	100,000	100,000	0	定期預金
予 備 費	1,130,000	190,108	-939,892	会工祭助成、入会金返金
合 計	4,950,000	3,760,178	-1,189,822	

※収入総額4,676,595円－支出総額3,760,178円＝差引残額916,417円は次年度に繰り越し致します。

平成28年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書(案)

(自 平成27年10月1日～至 平成28年9月30日)

収 入 総 額	4,530,000円
支 出 総 額	4,530,000円
差 引 残 額	0円

◎収入の部

(単位：円)

費 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘 要
繰 越 金	916,417	1,329,671	-413,254	前年度繰越金
入 会 金	2,400,000	2,400,000	0	新入生 (240名×10,000円)
協 力 金	700,000	700,000	0	会報、協力金
総 会 費	500,000	500,000	0	祝賀会、総会 会費等の収入
雑 収 入	13,583	20,329	-6,746	決算利息等
合 計	4,530,000	4,950,000	-420,000	

◎支出の部

(単位：円)

費 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘 要
総 会 費	650,000	700,000	-50,000	総会関係経費
会 議 費	650,000	700,000	-50,000	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅 費	500,000	500,000	0	各支部総会時の旅費
事 業 費	800,000	800,000	0	広告代、各支部への助成
卒 業 記 念 費	150,000	150,000	0	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶 弔 費	50,000	50,000	0	香典、弔電、花環代
消 耗 品 費	40,000	70,000	-30,000	事務用品、その他
印 刷 費	400,000	400,000	0	会報印刷代 (6000部)
通 信 費	190,000	150,000	40,000	切手代、電話代
事 務 費	100,000	100,000	0	コピーカウンター料、他
基 金 ・ 積 立	100,000	100,000	0	定期預金
予 備 費	800,000	1,130,000	-330,000	
合 計	4,530,000	4,950,000	-420,000	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

監査報告について

平成27年10月3日 歳入簿・現金出納簿・預金通帳および支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めましたので報告いたします。

平成 27 年 10 月 17 日

監事 西村 一夫
監事 坂田 茂
監事 関場 一宏

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 若狭 春生 殿

各支部への助成

東京ー 10 万

近畿…………… 5 万
東海…………… 5 万
若松…………… 5 万
福島…………… 3 万
日立…………… 2 万
郡山…………… 3 万
猪苗代…………… 3 万
坂下…………… 3 万
いわき…………… 3 万
西会津・湯川・会津美里
…………… 3 万
建友会…………… 2 万
会工電友会…………… 2 万
機友会…………… 2 万
セラ友会…………… 2 万
会工美修会…………… 2 万

記念講演

演題「松江春次翁の足跡」

講演者 会津史学会 副会長 大川原 史郎氏 (S30E卒)
昭和30年会津工業高校電気科卒業、同年出光興産株式会社入社。同社徳山製油所新設工事に従事以来、42年間に製造・物流・海運の部門を担当し、定年退職後は会津若松市に転居する。
現在は、あいづわくわく学園講師、会津史学会副会長を務めている。



懇親会



余興(剣舞)
浅沼 定雄 参与(東海会工委会長・S33K卒)



懇親会



学校長あいさつ



PTA会長あいさつ



近畿会工委会渡部名誉会長による乾杯



応援歌

百二十周年に向けて新たな出発

校長 二瓶 益幸



会工同窓会会員の皆様には、常日頃から会運営に御尽力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。また、創立百十周年記念式典、及び一昨年の松江春次記念館建設に際しては多大なる御協力・御支援を賜り、深く感謝申し上げます。母校会工は、創立百十周年という大きな節目を過ぎ、百二十周年に向けて、新たな歴史と伝統を築くべく、一步を踏み出したところであり、今後の会工の益々の発展と、会工生の活躍が期待されます。
本校OBの方を二人紹介します。

一人目は、板野恒雄様(会津若松市の総合ギフト商社「志野陶房」社長。窯業科卒)。五月八日に来校され、後輩に役立てて欲しいと、『全国やきもの産地の図鑑シリーズ』全一四巻をセラミック化学科に寄贈されました。図鑑は、志摩や古伊万里、織部など日本の国宝級の著名な焼き物を紹介しています。本校の図書館で保管し、生徒達が研究のために閲覧できるようにしました。

二人目は、坂場典子様(NPO法人・会津国際女性協会会長、インテリア科卒)。

六月十六日に、米国テキサス州の高等学校の教員一名、学生三名、大学生二名を引率して来校され、各科の実習を中心とした授業と、英会話部と吹奏楽部、弓道部の部活動を見学されました。いずれも好評で、米国の学生達は大いに感動して帰国したそうです。

六月十三日の京都工委会、及び六月二十日の東京工委会は、所用のため出席できず、お詫び申し上げます。代わりに教頭先生に出席してもらいました。両会とも、多くの会員の方々が御出席され、盛大な内容でしたとの報告がありました。六月二十一日の東海会工委会には、若狭会長さんと出席しました。三十数名の会員の方々が集い、校歌斉唱、両会長挨拶、活動・会計報告及び計画案が提出され、我々の方からは、母校(十月に学校祭の開催予定等)及び同窓会本部の近況報告等をし、懇親会は盛大でした。故郷、会津を離れて幾十年、身一つから会工魂で生き抜いて来られた先輩同窓生諸氏にはただ頭の下がる思いでした。どうか体調には十分留意されて、健康な毎日をお過ごし下さるようお願いいたします。会工同窓会は、全国各地に科や地域毎の支部支会を設けて、充実した組織として存在しています。今後は、特に若い同窓生の皆さんの積極的な御参加をお願いし、会工OB・OGとして相互の親睦・絆を深めていただくことをご祈念申し上げます。

最後に、歴史と伝統と実績を誇る「会工同窓会」会員の皆様には、常に母校を愛するお気持ち強く感じ、心強く思っております。今後とも母校並びに後輩のために、御指導・御支援・御協力の程を宜しくお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。



昭和35年の校舎



現在の校舎

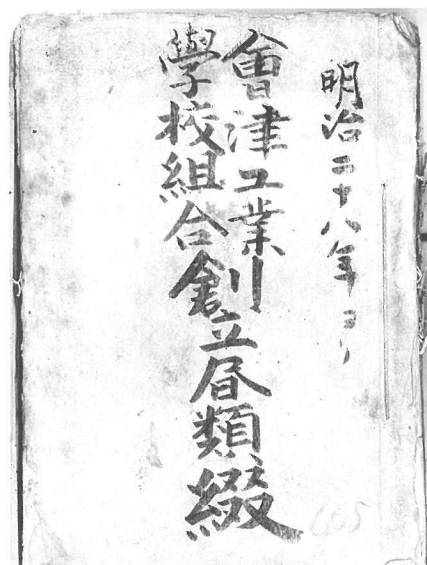
会工高の歴史のうち、本校創立以前の「徒弟学校」開校に向けて、会津方部の実業界・会津五郡町村など努力された人々と当時の活動について、新資料で述べておきたい

会工100年史編纂委員 江花光泰

昭和37年刊の「徒弟教育の研究―漆器徒弟の社会的分析―」（会津短期大学竜川教授ほか編）には「明治27年（6月27日）実業教育費国庫補助法の公布（ついで同年7月25日には徒弟学校規定制定）後直ちに、福島県会津地方五郡全町村学校組合立による窯業、漆工、染織三科の徒弟学校を設立しようとする動きがあったが、その実現までには至らなかった」とある。ほぼ同様趣旨の文言が昭和41年刊の「会津若松史6」にもある。

同窓会報2012（会工100年史補完版4）で本校設立の基礎となった二つの徒弟学校づくりに尽力された方々として、日下義雄、中川駿太郎、手島精一、太田熊寿、山田三郎、秋山清八、佐瀬剛、菊池義道、佐治幸平の各氏を紹介したが、さらに紹介したいと思う。

今から10有余年前「会工100年史」の編纂中にある簿冊が寄せられたのだが、多忙に紛れて「100年



北会津郡役所文書

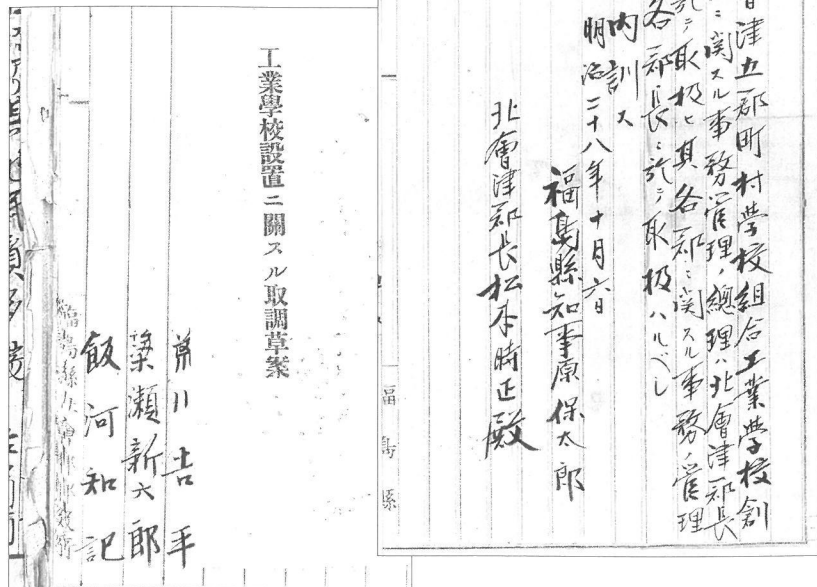
校組合創立書類」を「何で親父がこれを持っていたのかわからない」ということであった。（北会津郡役所文書）

本校創立に至る一つの流れ・・・「明治28年（1895）ヨリ 会津工業学校組合創立書類綴」は152枚からなるが活版印刷の「工業学校設置ニ関スル取調草案」（32ページ）や5枚の電報のほか大半は福島県、会津五郡郡役所の和紙用箋に墨書された書類綴りだ。明治28年 会津五郡（南会津郡、北会津郡、耶麻郡、大沼郡、河沼郡）の町村からなる学校組合による工業学校の設立が図られた。北会津郡長の松本時正、耶麻郡長遠山千里、河沼郡長小池友謙、大沼郡長相原彦吉、南会津郡長柴太一郎および福島県知事原保太郎、小倉信近、福島県内務部長尾越梯輔や工業教育に尽力した中川駿太郎、住谷、目黒県属と次の71名にのぼるお名前が記載されている。

どういった方々なのであろうか。以下である。

北会津郡
 星野胤国 奥田鉦一郎 横山和一郎 渡部千代吉
 春日部定期 荒川吉平 梁瀬新六郎 飯河知記
 佐原英順 阿部元善 水野誠一郎 渡邊（部）一良
 秋山清八 山田信義 皆川辰四郎 大花栄次郎
 森川善右衛門 宮崎喜蔵 山口利朝 高橋與五郎
 赤城喜平 山口新吉 永瀬数馬 神田惣平 小池傳吾 佐藤連三郎 坂内孫吉 高瀬喜左衛門 石堂留吉 大須賀善吉 吉川三郎 葛岡庄兵衛 辰野次郎 中村衡三 角田良玄
 耶麻郡
 土屋重郎 前田耕作 星大四郎 原平蔵 鈴木林

工業学校設置に関する取調素案



勝 宇田成一 唐橋左源次 五十嵐武彦 齋藤忠平
 河沼郡
 関成章 田淵藤四郎 八田吉多 国府盛恒 山内桂吉 吉川卯三郎 渡部新八郎 酒井文右衛門 山口千代作 齋藤又一郎 中島友八
 大沼郡
 外井喜章 山寺八三 渡部禎二 初瀬川健増 長谷川由松 長郷啓喜 青木清 遠藤平太 荒井秀吉



4代若松市長 松本時正
 明治39年10月11日就任
 大正元年10月10日満期退任
 満期後は北会津郡長に転じた。
 大正3年（1914）若松市長に再任され、11年の退職まで通算12年間市長を務めた。この間、歩兵65連隊の設置や公会堂の建設などを行った。

南会津郡

酒井幸七 川島孝治 鈴木弘二 星清吾 渡部嘉七 星恒三郎 堀金長左衛門

会津の各郡長・町村長や諸産業の代表など地域財界・政界の有力者で、明治28年当時の方々が福島県令として着任した旧薩摩藩士の三島通庸の三方道路に端をはつた自由民権運動や自由党に名をはせた人も見える。

これらの方々がどんな人なのか、お一人でもご存知であればご教示願いたい。

緋色で縁取りされた和紙の「福島県用箋」に墨書された文書が一通の封書にいられている。

「会津五郡町村学校組合工業学校創立ニ関スル事務管理ノ総理ハ北会津郡長ニ於テ取扱ヒ其各郡ニ関スル事務ノ管理ハ各郡長ニ於テ取扱ハルベシ 右内訓ス」
 明治28年10月6日

福島県知事 原保太郎
 北会津郡長 松本時正殿
 （文書と松本時正）



北会津郡役所の新設 明治17年に完成した北会津郡役所。当時は若松第一のモダン建築であった。現在の市役所の場所にあった。

当時の県知事原保太郎は（福島県政治史上巻）による本県歴代長官更迭表には初代権令清岡公帳（高知県士族）、5代県令三島通庸（鹿児島県士族）、10代県知事日下義雄（山口県士族）、11代原保太郎（山口県士族）は山口県知事から本県、1年勤務後に北海道庁長官に、また12代小倉信近（米沢県士族）は警視庁第一部長から昭和の時代まで続くのだが、すべて明治政府から派遣されており、県人はいないことになっている。ただ唯一の県人が日下義雄で旧名石田五助、自刃白虎隊士石田和助の兄で、山口の日下家に婿養子に入ったことにより日下姓となる。会津人である。

県内務部長の尾越悌輔は鳥取県書記官から本県2年

こうした中で実業教育の権威手島精一東京職工学校校長が29年4月12日以後に会津に来ていた。

電文「デシマコウギョウガツコウテウアスユクヤドヲシミズヤヘタノム」は尾越県書記官から松本郡長へのものなのだが、旅館清水屋は七日町本店「清水屋事件」として有名な栄町分店なのかは読めない。（電報と栄町清水屋）

「内務部長より通知の東京工業学校校長手島精一君には今朝福島発の一番列車にて小生同行のところ強風にて途中困難 午後2時半山潟に下車 旋風にて（猪苗代湖の）汽船通ぜず、また陸路も雪崩し今夜は山潟に泊まり明早朝出立
明治29年4月12日
住谷福島県属

追信 松本北会津郡長殿
旅館清水屋へ指示願いたし」

との文言も見える。

この頃の交通事情（北会津郡郷土誌）をみると、「明治29年（1896）1月岩越鉄道株式会社の創立せらるるや同時に若松郡山間の鉄道工事を起こし同32年7月之が開通を見交通頓に改まりぬに・・・是より先き岩越線の通ぜざるに先ち唯一の交通機関としては猪苗代湖汽船の航路ありきしかれど鉄路工成ては亦廢せらるるの止むなきに至りしなり・・・」とあり、文書の明治29年は鉄道はまだなかったのだ。滝沢峠越えは徒歩だろうし、馬車か、人力車での移動かこれも読めない。（錦絵猪苗代湖の蒸気船）

「徒弟学校から工業学校への進め方」が手島精一氏

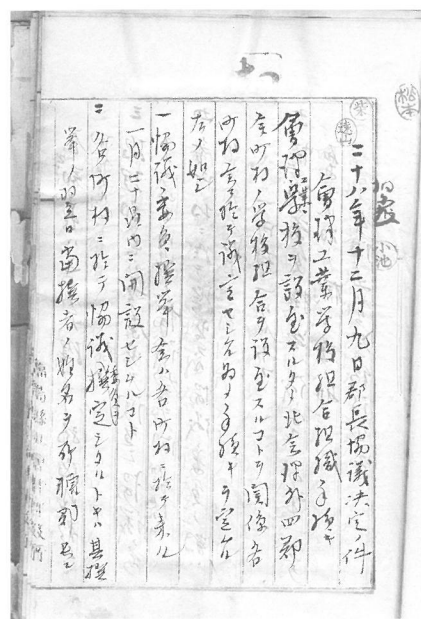
ほどで佐賀県書記官となるなどこも中央政府から派遣されている。

郡長松本時正、かつて若松警察署警部として自由民権の弾圧に怪腕を発揮したことがあり、その後本県の行方・宇多（浜通り、現南相馬市）郡長から北会津郡長、青森県警察部長そして明治39年には4代若松市長となった方である。

この松本時正から四郡長と会津管内町村長に働きかけが始まった（北会津郡役所文書）

会津五郡（南会津郡13村、北会津郡12村、耶麻郡26村、大沼郡18村、河沼郡16村）には「工業学校設置ニ関スル取調草案」総計で1500部を送付した。

明治28年12月9日付けの「会津工業学校組合組織手続き」文書の右肩上には郡長の松本、柴、遠山、小池の朱印と相原の朱墨サインがあり、明治23年法律第89号地方学事通則及び明治26年勅令第33号に依り南会津郡全村、北会津郡全町村、耶麻郡全町村、大沼郡全町村、河沼郡全町村の公民中から創立協議委員1名を選定するものとし、また協議委員の権限は町村制第116条



北会津郡役所文書（近代会津百年史より）

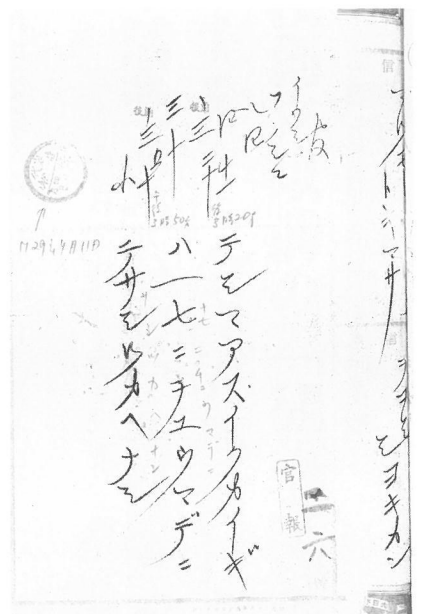
のこんな労苦の中で実現していたことを知っておきたい。

明治29年2月15日から3月19日までの期間に集中して、各郡から実業学校設立に関連して会津の産業状況が報告されている。

生糸・蚕糸真綿蚕卵紙表・絹・麻・木綿織物の生産戸数と生産量及び金額、製糸会社と資本金、所在地、



錦絵「猪苗代湖の蒸気船」（近代会津百年史より）



電報



栄町清水屋

及び117条に依るものとした、さらには12月25日付けの尾越県書記官からの文書では町村を代表しその長が商議することとした。

職工人数、蒸気力織、水力機関数と公称馬力、陶磁器の製造戸数、職工数、陶器・磁器産出高、売上高、錦窯・登窯数、漆器生産品目と数量製造戸数、産出額、売上額、漆器商、丸物、板物塗工、時絵工、塗下地工、漆・木地・金箔商、中通工の各戸数などが詳細に報告され、さらには藩政期から各業の沿革について各郡長から報告されている。

職工学校設置に賛同、あるいは否定の答申が寄せられる。明治29年7月 職工学校設置の儀につき答申として「職工学校設置の件ご諮問の旨了承いたし候 前原本県知事の御下問に際し賛同其の成立の速やかならんことの希望を述べ置き候通り本校の設立は地方の工業を發達擴張し富国の実を挙ぐるに於いて必要なる儀と認め・・・多少の困難あるは免れざる所につき困難を排除、速やかに成立候様御奨励あらんことを切望と・・・」

北会津郡若松町長 星野胤国
北会津郡川南村長 梁瀬新六郎」は肯定的に込えて

一方で明治29年7月 「地方工業の發達擴張は目下緊要のことは論を待たず・・・前原知事の御下問に賛同の意を表し置き候処・・・退いて村内一般の民情を洞察するに各々自己の職業に対し幾多の費用を投ずるあり・・・多衆農民の職業に直接関係なき工業の為め多額の負担をなすは民力の許さざる所にて・・・」として

北会津郡湊村長 奥田鉦一郎
全 一箕村長 横山和一郎
全 町北村長 渡部千代吉

全 高野村長 春日部定期
全 神指村長 渡邊一良
全 荒井村長 水野誠一郎
全 館の内村長 荒川吉平
全 門田村長 飯河知記
全 大戸村長 芳賀小市郎
全 東山村長 阿部元善

と各村長は否定的に応えている。

また明治29年6月30日 職工学校設置に關しての本郡の意見書として、大沼郡長相原彦吉から福島県知事後任の小倉信近への文書がある。「本郡各村長に諮問致し候処、最初より必要に迫られ賛成したにあらずして……会津地方の利益を企画、五郡團結組織する場合独り本郡のみ連合せざるとの意見でこれなく、今各村の状況を言うときは尚早との意見多数を占め……」との答申を寄せている。

高田村は5郡連合する場合無論異議なきも各自の組織となすときは設置セルを可とす
本郷村は設置を可

大芦村は否としこの費用を本郷村立徒弟学校に補助し強固ならしむるを可

川西村は高田組合と同じ

中の川組合村全断

永井野村は職工学校設置を否

尾岐全断

赤澤村全断

中ノ川組合村全断

氷玉岡村全断

新田村全断

鶴ノ邊全断

旭村全断
西川村全断
沼沢村全断
川口村組合全断
横田組合村全断
野尻村全断

これらの文書の通り可否が分かれたが、生産分野で紡績・製糸など軽工業が中心ではあるが、工業が農業を上回るのは大正8年のことであるから止むを得なかつたことかもしれない。

この時点で大芦村に見られるのだが「本郷村立徒弟学校」に言及していることだ。本郷村（明治27年本郷磁器業組合設立）や川南村（明治26年川南村磁器業組合設立）では瀬戸焼物の工場群を抱え、後継者育成尽力の様子が見える。会工100年史年表に本郷徒弟学校明治28年4月1日開校と若松市議会資料の7月15日開校と2つあるが4月1日は考えにくい。

同時に明治29年7月11日付けから「漆器徒弟学校創立書類」が作られていることだ。この文書綴りの半分ほどの量になる。

明治29年6月3日漆器業界（明治27年若松漆器業組合設立）から北会津郡書記武井直宛に漆器業現戸数が報告されている。

漆器商	上	38戸
丸物塗り工	中	68戸
板物塗り工	中	42戸
蒔絵工	下	89戸
惣輪工	下	44戸
塗り下土工	下	43戸

漆商	上	14戸
木地商	中	2戸
金箔商	上	7戸
中通工	下	27戸
計		374戸

とあるが上中下と朱墨で記載されている。

各戸の生活状況を区分している。
筆者・私の親は蒔絵工に区分されるが、幼い頃の記憶では兄弟6人が眠りについても目覚めても沈金の仕事をしていた両親の姿が思い浮かぶ。確かに「下」だったのだろう。

明治29年8月13日 北会津郡長松本時正（郡書記中川）から「会津漆器業職工学校規定案」（会甲第1168号）が示されている。

創立委員として鈴木利平、高瀬喜左衛門、谷平兵衛、鈴木久助、新城猪吉の5人の漆器商が記載されている。

後の漆器徒弟学校の商議員も漆器商が指導的役割を果たしている。

第1章の総則、第2章教科目から第10章に至り、「経費収支概算」では収入で国庫補助700円、組合負担861円23銭 支出で人件費は1044円、教員給月俸40円、小遣い給月4円 宿直賄料一夜3銭、図書費、実修費、校舎借り上げ料月7円など1454円23銭とした創立草案が福島県に上申されているが明治31年創立の「会津漆器徒弟学校」の原点がここに見える。

東京会工会 インターネットの時代 と同窓会

堀 雅宏
(昭36E卒)

パソコンやスマホなど近年の情報技術の普及は、私たちの仕事や生活に大きな影響を及ぼしていることは誰もが認めることです。学校の同窓会活動も例外ではなく、手紙と電話とクチコミの時代と比べると情報伝達のスピードの点で隔世の感があります。会工のホームページを拝見しても実に立派なもので、学校案内、学科紹介、進路情報などとともに鶴翔ニコースの中で同窓会の行事も紹介されています。

一方、スマホは手元にあると私たちはすぐ手に取ってしまいがちで、本当は必要かも知れないばんやりと空や雲を眺め、物思いにふけられるような時間を私たちは奪っているのかもしれない。また、分からないことがあってもネットで調べられるからいいと、以前のように辞書で調べたり、本を探したりするのに時間をかけなくなりまして。ここでは頭に入れておくべき知識すらも要らなくなるので、ネット社会の最大の弊害は自分の頭でものごとを考えなくなる

ことだと指摘している人もいますが、その通りだと思えます。

“考えること”とはいくつも違った見方をしてみること、なぜか、何のためと自分の頭で考えることだと思うのが……最近私がネットであることについて調べていたときの経験ですが、腑に落ちなかったので3箇所サイトで調べてみましたら皆同じ数値でした。後日別の正しい値が分かったので、皆同じサイトからのコピーだったに違いありません。やはり便利なことには危険性もあるので、疑ってばかりでは大変ですが、少しだけ疑問の余地を残しておくのもありかなと思います。

ところでネット社会は情報を多方面から素早く入手できることを特徴としていますが、それゆえ同窓会や同窓生からの情報も多く、情報の一つに過ぎなくなっています。また卒業してもクラスメートとラインで繋がっているから、同窓会なんて面倒な（そう思える）ものなんてどうでもいいと考える人も少なくないかもしれません。このような時代に同窓会はいらないでしょうか。私はそうは思いません。

ん。

私自身も五十過ぎてから先輩に同窓会の再興に誘われてから関心を持ったようなもので、若い頃からほとんど同窓会に関することはありませんでした。人それぞれですが、そんな余裕もない場合も多いかと思えます。しかし、そうであっても同窓会には有為転変の社会の灯台のように思えます。情報だけでは得られない同窓会のぬくもりはふとその気なつた時の止まり木になれば、その維持運営をされる方々にはご苦労なことですが、存在すること自体にも意味があると思います。震災の後の東京会工会報で、こし他界された荒井士郎前会長がご自身の長い人生を振り返られ、人の世に絆は大切で、同窓会は絆になりうる”とおっしゃっておられました。

いまはまだ紙媒体の必要な段階ですが、ネットの時代に提案を二つしてみます。①個人情報保護法の施行以来、同窓会は学校から卒業生名簿を頂けなくなっています。卒業時に各クラスから同窓会委員（と代理）を選んでおく。②母校のホームページで同窓会の常設欄を設け、例えばこの同窓会報の内容を紹介

計 報

前同窓会本部副会長（東京会工会前会長）荒井士朗が平成27年3月1日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

若松会工会 「研修会」を開催

幹事長 浅田 誠
(昭43E卒)

本会の年間行事で主要な取り組みであります「研修会」を、本年も継続して実施する事が出来ました事に對し、参加者をはじめ関係各位のご協力の賜物と、本紙面をお借りして冒頭に衷心より厚く御礼を申し上げます。

本「研修会」も、参加者が少ない・固定されている、会員のニーズを把握しきれていない、興味・関心が低い等々、苦言を

耳にすることが多くありました。執行部の付け焼き刃的な計画が主因であることを当然認識しつつも、一向に改善策を見いだせないままに、今日に至っているのが現実でありました。

この様な中、先輩からのアドバイスで、本会の特典である「各修養会の会長さんに、副会長職を担って戴いている」事を踏まえて、各修養会の会長さんから「輪番で候補策を伺ってはどうか」とのご意見を拝聴させて頂きました。早速トップバッターとして、「セラ友会」さんに本年の候補策をお願いし、今回の「研修会」の開催に至った経過であります。「セラ友会」さん、本当に有り難うございました。

今回の「研修会」のあらましについて、以下に記載・報告致します。
テーマは、市内の名所・旧跡を再認識しながら、同窓生が経営する企業を視察するとともに、会員相互の親睦・懇親を深め、今後の同窓会活動の一助にすることとしました。

本年8月31日（月）の8時30分に、今回の参加者10名（近年の参加者の半分程度でしたが、これまでは、某修養会と合同で開催していたことによる参加者の増加でした）が一堂に集合し、

鶴雲飛翔



定天然記念物の「高瀬の大木（ケヤキ）」を観察しました。名所・旧跡の最後は、同神指地区にある「中野竹子奮戦地」を訪ね、戊辰戦争当時の会津婦女子の偉大さの一面を垣間見た思いでありました。

昼食会場の専用バスで今回の「研修会」をスタートさせるところであります。



始めに、七日町以西・神指地区にある「涙橋・柳橋」を視察し、刑場に引かれる罪人が、家族や友人と井戸水で水杯を交わして涙した橋への思いを回顧し、その後、戊辰戦争時に新選組隊員で山口一・山口一郎・斎藤一・山口四郎・藤田五郎等、生涯で数個の変名を使った隊士の奮戦の地となった「新選組受難地・如来堂」を訪ねました。なお、ここ如来堂は土塁や塀に囲まれた上杉景勝公が築いた城跡の南西角に位置しています。次に近年有名になった「神指城本丸跡」及びその北東土塁跡にある国指



「会津天竺醸造株式会社」様を訪問・視察させて頂き、「会津は古い伝統と猪苗代湖の自然の恵みに育まれ、農作物が豊富な地で、140年余り同じ場所



同じ仕事を継続する事が出来たことに感謝し、現代は地域活性と農政の困難な時ではあるが、日本の伝統食品・和食の原点を守りながら、土に生きる農家の人々と一体となって新時代へ向けての幅広い食作りに貢献するとの企業理念を拝聴するとともに、会社・工場概要の説明を受けた後、味噌を中心とした醸造製品の最新鋭クリーンライン工場を視察させて頂きました。感動の連続であると同時に、新たな製品開発への意欲的な取り組みに感嘆したところです。この様な発想・姿勢は今後の活動の糧にしていかなければならないことも痛感したしだいです。

最後は、第二の重要テーマである「昼食・交流会」を東山第一ホテル様にお世話になり、ゆつくり入浴しながら、豊富な会津食材料に舌鼓をうちつつ、四方山話や情報交換等の会話を通して、親交を更に深めた一時でした。また来年も有意義な研修会を開催せよ、との忠告も頂戴して帰路につきました。



東海会工会 創立50周年誌を発刊

会長 浅沼 定雄 (昭33 K卒)
平成27年6月21日(日)東海会工会定例総会を名古屋市の「味波」で開催しました。
当日午前中は大雨の中を来賓として同窓会本部より若狭会長、木村幹事長、本校より二瓶校長、東海会工会より五十嵐常務幹事、近畿会工会より大竹会長の御出席をいただき、盛況に満ちたことが出来ました。私にとりて今年度の総会で大変嬉しいことが二つありました。一つは同級生と57年ぶりに逢えた事、もう一つは当会の顧問中村伊佐夫

様(昭30 E卒) 始め関係者各位の御協力により東海会工会創立50年誌を発刊出来た事です。57年ぶりに逢った三浦忠君とは卒業後5年程年賀状のやり取りをしていたが、その後音信不通となり安否を心配していた所、昨年の暮れ突然電話が有った。元気である事がわかり、今回の東海会工会に出席する事を約束し、名古屋駅で待ち合せることにした。名古屋では予定の時間が10分過ぎても現れず、止む無く送迎バス待機所まで行くのをかけて来たのが三浦君であった。57年の歳月は長く、二人の容姿は変貌していたのである。これでは町ですれちがってわからないと後で大笑いだった。彼とは今後もこの同窓会に出席する事を約束したのは言うまでもない。又東海会工会来賓の五十嵐君とも同級生であり、この同窓会で逢った時は彼が白虎隊を吟じ、私が剣舞をやる約束をしていた、今年は会場にも演舞をするスペースが有り約束が果たせて良かった。又彼の詩吟にも磨きがかかっていて来年も楽しみにしている。

東海会工会創立は昭和39年です。その年は東京オリンピック、東海道新幹線の開通と日本中が高度成長期の真中でした。そういう中であって、当会は初

REPORT & MESSAGE

会津美里会工会 恩師との別れ

会長 栗木 俊昭 (昭45 D卒)

第七回定期総会を一月下旬に若狭会長はじめ本部役員及び学校関係者を来賓に招き、会員十六名が出席し開催いたしました。席上、学校側より在校生が勉学に活躍・奮闘している話を伺い、嬉しさと誇らしさを感じたところでありました。

又本支部の真鍋幸意氏(昭和26 A)が、天台宗檀信徒総代会の全国会長に就任されました。誠に誇りに思い、今後のご活躍をお祈りいたしております。

さて、最近の気候はまさに激変で、雨になれば豪雨、雪になれば豪雪と厳しくなっているように思われます。そんな中にも季節がやって来ると節の花が咲き、心が癒されます。

そんな折、桜の花が散り始めた四月下旬に恩師のA先生が逝去されました。先生とは四十八年前の入学式で出会い、以来卒業後ももとより、先生が退職してからもお付き合いをさせて頂きました。地元同級生と隔月開

いわき会工会 理屈

大川原昌之 (昭28 E卒)

7月のある日、後輩のU君に誘われ、最近奥様を亡くされて、独り暮らしの後輩A君を、酒を飲みながら慰めようと、A君宅にお邪魔した時の話である。料理自慢のA君手造りの酒の肴と、U君持参の馬刺しその

催する飲み会には、必ず真先に到着され、得意の江戸の川柳に花を咲かせ、楽しく過ごした時が忘れられません。先生は北海道出身で、私達の間では「ヒグマ」の愛称で呼ばれていました。が、体面とは裏腹に優しく、時には厳しく、まさに北海道の野生界を征するヒグマのような存在でした。

他をつまみながら、ビール、焼酎、日本酒、ウイスキーなど夫々飲んでみると、A君の近所の方が二人、これもつまみ持参で合流し、男5人の宴会が始まった。四方山話のうちに、誰かが老人会のボランティアで通学路の見守りをしてると云う話から、老人会に入っているかと聞かれて、私の住む地区にも老人会はあるが、入っていないと答えたら、何故かと聞かれて、自分は老人と思っていないからと云うと、A君に80才過ぎたら立派な老人でしよと云われ、自分で認めたらほんとに老人になるから嫌だと答えたら、そんなの理屈でしょと云われてしまっ

会工電友会 電友会史跡探訪「高僧徳一ゆかりの寺を訪ねる」

会長 菊地 良三 (昭37 E卒)

電友会では、春の「史跡探訪」と秋の「設備見学」を毎年のメインイベントとして実施している。今年度はまず春の「史跡探訪」を青葉若葉が目につく5月21日に「高僧徳一ゆかりの寺を訪ねる」のテーマで湯川村の「勝常寺」、磐梯町の「慧日寺」を探索する事にし、合計17名の

質実剛健

至誠勤労

参加でいつものように大川原史郎さん（S30E卒）を講師にお願いして実施した。

（高僧徳一の事）

高僧徳一は、平安時代初期奈良東大寺で学び、興福寺では法相宗を修得に学ぶ秀才であった。しかし、奈良仏教の墮落に嫌気がさし、東国に仏教の理想郷を求めた事と、大同元年（806）磐梯山の火災で人々はすべてをなくし、路頭に迷う惨状を伝え聞き何とか人々の苦しみを救い、荒れる山を静めたいとの思いから、会津の地に仏教を広めようと東国入りしたといわれている。

その後、大同2年（807）修業の場として慧日寺を建立、さらに大衆に仏教を広めるため、会津盆地のほぼ中央に勝常寺を開山したと伝えられている。（湯川たから館）

見学コースとしてまず「湯川たから館」を見学。ここは地元湯川出身の偉人、彫刻家「佐野文夫」と、ご存知「男はつらいよ」シリーズ撮影監督の「高羽哲夫」両氏の遺作品が展示されている。特に寅さんシリーズについては、全作品を保存しており、希望によりいつでも鑑賞可能との事。（勝常寺）

勝常寺は会津五薬師のうち文

字通り会津盆地の中央に位置している薬師堂である。木造、寄棟造、銅板葺と威風堂々の外観を有している。中に配置してある、メーは薬師如来と脇侍の日光・月光菩薩で端麗な容姿で平成8年に国宝指定になっている。

その他、十一面観音、聖観音、四天王、地藏菩薩、虚空蔵菩薩（いずれも国指定文化財）を拝観し人々の安寧を願うお姿に感動した。



勝常寺の案内を聞く

（慧日寺）

慧日寺は平安初期「高僧徳一」によって磐梯山麓の磐梯町に開創された。現在は「金堂」と「中門」が復元され一般開放されている。屋根、柱、風鐸、天井、連子窓等鮮やかに復元さ



慧日寺にて

れている。特に柱、窓の鮮やかな朱色は印象的であった。「徳一廟」、慧日寺の衆徒頭で会津四郎の兵を率いて木曾義仲と戦い討ち死にした「乗丹坊墓」を同時に見学し、新たな知識を吸収する事が出来た。

以上で見学の概要を述べたが、当時の社会不安、健康不安を救済すべく薬師如来を本尊とする仏教の流布を試み、人々の安寧を願った「高僧徳一」の手腕は正に「仏都会津」の基礎を築いたものであり疑う余地もない。

見学が終わり、昼食は慧日寺の近くで「道の駅ばんだい」北隣の「そば道場」で名物の手打ちそばを堪能した。その主人が電友会根本一雄氏（S36E卒）



そば道場での手打ちそば

と懇意にして

いることから、種々の蕎麦談義、蕎麦口上まで披露して頂き、その親切な対応に我々一同大感激のひと時だった。

セラ友会

会長 鈴木 洋子

（昭32K卒）

窯業科・セラミック科・セラミック化学科の卒業生でつくる「セラ友会」は七月十八日（第三土曜日）午後四時からホテル「いづみや」にて、平成二十七年年度総会を開催いたしました。総会開始に先立ち、物故者への黙祷を行い、関場一宏副会長の開会のことばから始まり、母校の校歌斉唱を行いました。

議長に昭和四十八年窯業科卒の古川義一さんが選出され、事業報告・会計決算などや新年度のやきもの教室・史跡めぐり・研修会、会工寮への協力等の事業計画・予算は原案どおり承認決定されました。

続いて、役員改選で顧問に佐々木賢氏、副会長に逸見輝夫氏、松本征雄氏、副幹事に青山孝男氏、幹事には、齋藤幸三氏、小野啓一氏、森総一郎氏、手代木崇氏、監事に長谷川利彦氏が追加されて今後二年間の役員体制が承認されました。役員氏名等は後記に記入。その他として母校からの報告を、セラミック化学科主任大塚正幸先生から受けました。会報二〇一五



REPORT & MESSAGE

セラ友会役員名簿

名誉顧問

吉田 一榮、坂内 茂男

坂場 恒雄

顧問

高羽 芳満、橋本 英雄

石井 久夫、島影 孝敬

佐藤 悦郎、佐藤 松夫

佐々木 賢

会長 渡部 洋子

副会長

関場 一宏、浅沼 定雄

板垣 正宏、逸見 輝夫

松本 征雄、宗像 利浩

幹事長 二瓶 正人

副幹事長 青山 孝男

幹事

松本 誠、水野 俊彦

齋藤 幸三、鈴木 一彦

木村 俊一、小野 啓一

木村 洋一、森 総一郎

手代木 崇、渡部 祐平

会計

箭内 健男、梨子本 傑

監事

長谷川利彦、古川 義市

事務局長 梨子本 傑

事務局

大塚 正幸、村田 光夫

村山 彰一、大濱 達明

熊田 志郎、藤澤 健一

建友会

会計 鈴木 秀一

（昭54A卒）

建友会・総会・懇親会が平成27年6月19日（金）市内中町のホテルニューパレスにて午後5時より総会が、午後6時より懇親会が開催されました。

学校長、市長、国会議員の先生方、同窓会会長、事務局長、商工会議所会頭、建築士会支部長、建築事務所協会支部長、建設業協会支部長、建設業組合組合長、県塗装協会支部長様はじめ、電友会、セラ友会、機友会



私が初めて建友会に出席したのは昭和55年の2月、東山温泉の松島閣ではなかったかと記憶しています。当時は毎年、いろいろな温泉ホテルで開催していた事を思い出します。会の会計に昨年より就任し、今年で2年目になりますが、建友会の無尽にも入会し、諸先輩方から、昔の建友会の歴史を聞かされました。昭和36年ごろが、建友会の始まりではないか、この時から、ハガキを送付して出席を確認した会を発足させたことを伺っております。

建友会の前身に無尽の集まりがあります。私もこの無人に4年前から参加しています。無尽の会が、幹事会であり、

当時集まった幹事が、会員への連絡を取っていたそうです。

現在の無尽のメンバーには第一回卒業生の太田先輩（恩歳86歳）を筆頭に15名の会員で、毎月8日にひょうたん寿司で集合し、懇親を深めております。メンバーも高齢になり、1回から20回（86歳、66歳）生が殆どで、31回の私のほかに45回48回49回の3人が若手であり、これより下の卒業生はおりません。建友



初志貫徹

一意専心

会になれば、卒業生が今年で67回生になり、卒業生の数は大変なものになります。

ここ数年は、建友会に参加する卒業生の数が横這いになっており、概ね70〜80人位の出席数になっています。今年は75名の出席で、御来賓、恩師、賛助会の会員様の参加で、総計125名の出席を頂いております。会の継続の為、開催場所の選定や、会費の問題など運営する執行部では、悩みの種が付きません。来年は消費税が10%になれば、会費の値上げや、開催場所の選定など、新たな問題が生じ、会員の出席率が低下している、回数があり、ここをどうしたら、参加してくれるのか、検討項目が目白押しであり様です。幹事の皆様には同様な悩みを聞いております。しかし、入会してくる新たな会員の為にも、難題に対して、真正面から挑み、より良い建友会の存続にまい進していく所存です。

機友会

会計 荒川富士雄
(昭43M卒)
機友会が平成11年に発足して16年目になりました。機械科・



精密機械科を卒業した同窓生で構成し運営をしています。当初2年程は活動どころか、運営資金に事欠く状態でした。当時の伊藤会長には大変お世話になり継続でき今日に至っています。昨年は松江記念館の建設に他科の同窓生の方々と共に少しでも役に立てた事、皆様のご協力ありがとうございました。6年前から在校生の活動支援を行っています。同窓生の皆様も後輩たちの活躍を知った時はうれしくなると思います。今後も生徒たちが様々な活動をする事に後方から支援をしていきます



機械研修部に激励金

会津工高OBら「さらに活躍を」
会津工高の機械科OBらでつくる機友会(栗城和夫会長)は17日、会津若松市の同校で激励金贈呈式を行い、同校の機械研修部に5万円を贈った。
同会は、全国電動カッター制作コンテストや、ホンダエコパワースタッフ全国大会などに参加している機械研修部の活動に役立ててもらおうと毎年寄付しており、今年で10回目。
式では栗城会長が「有意義に使ってほしい」と同部カッター班の大竹智之さん(3年)とロボットの伊東将典さん(3年)に激励金を手渡した。大竹さんは9月の大会で結果を残したためにも大切にしたい」と感謝した。

ので、諸先輩の方々よろしくご支援ご協力お願いいたします。

昭和電工(株) 東長原会工区

支部長 大塚裕一郎
(平3C卒)
去る6月12日(金)平成27年度会工区同窓会東長原支部の定

期総会が会津迎賓館で開催されました。
本同窓会は、河東町東長原地区の昭和電工(株)敷地内の各企業で働く福島県立会津工業高等学校(以下「会津工業高校」という)の卒業生約60名で構成されており、会員相互の親睦等を目的に組織されています。
総会では前年度の経過報告や会計報告がなされ、役員選出まで全会一致で承認されました。

三菱伸銅(株) 鶴友会

2015年同窓会報発刊によせて

幹事長 岡村 勉
(平1M卒)
同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて、今年度の同窓会会報発刊によせ、三菱伸銅株式会社会津工業OB会『鶴友会』の近況を報告いたします。

現在、鶴友会には109名が在籍しております。今年度の主な取り組みとして当会の共済会規定の改定作業を実施しております。この規定は会員相互の扶助救済を目的として各種の祝金や見舞金、香典等があります。今回は特に傷病見舞金の拡充を目的として見舞金額の引き上げと支払対象のハードルを下げる

REPORT & MESSAGE

ことで会員への還元を図り、少しでも当会の存在意義を高める努力を行っております。

恒例行事としては、年2回の交流会を開催しており、ひとは5月の『花見会』もうひとつは年末の『総会』とその後の忘年会があります。総会は温泉宿での一泊開催が恒例になっております。

しかし、当社で昨年5月31日に重大災害が発生し、我々の仲間の尊い命が失われてしまいました。状況を鑑み一時は行事の見送りも考えられましたが、最終的には規模を縮小して日帰り開催とし、個人を偲び、そして安全改革を誓う場となりました。

この痛ましい重大災害を受けて当社はこの4月に労働基準監督署より安全管理特別指定事業所に指定されました。当会員はもろろのこと全社一丸となり各種の是正報告や改善指導を真摯に受け止め、『安全で安心な世界最強の工場を目指す』とい



花見のひとコマ 一本締め

三菱伸銅(株) 広田製作所会工区

会長 野邊 良浩
(昭50T卒)
いつも大変お世話になってい



松島にて(右から2人目小生)

う新たな決意を掲げて一年後の安特解除に向け全力で取り組んでおります。

同窓会会員の皆様方におかれましては、安全の基本に立ち返り、災害のない安全で安心な職場作りに取り組んでいただきたいと切に願っております。

東京電力 会工区

幹事 渡部 博之
(平9E卒)

福島第一原子力発電所の事故により、発電所周辺地域の皆さま、社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

当会員は、東日本大震災で被災した電力施設、とりわけ福島第一原子力発電所の外部電源設備の復旧等に、震災直後より第一線で従事した者も多く、その



平成26年度 会工区総会 平成26年11月22日 於 萬花楼

後も避難を余儀なくされたご被災者さまへの賠償業務や、双葉地方をはじめとした県内の復興支援業務等に幅広く取り組んでまいりました。

このような中、少しずつではありますが地域の方々のご理解をいただきながら、東京電力会工区の活動の歩みも再開しつつあります。

【役員】
会長 福井 隆夫(S54E卒)
副会長 佐藤 龍一(S55D卒)

OB会

前東京会工区会長・前セラ友会副会長・セラ友会顧問 荒井士郎氏(S34K卒)
偉大なご功績に感謝をこめて

梨子本 傑
(昭41K卒)

荒井氏は、ニッポ産業の会社を立ち上げ社長として経営に携わり、さらには東京会工区の会長として十年にわたり様々な同窓会活動に取り組んでおり、それぞれの立場で手腕を発揮されておりました。
氏は数年前より体調を崩されていたが、母校には平成二十三

威風堂々

温故知新

年に設立十周年記念総会と翌年の東京会工会百周年記念事業一環として母校正面前に桜植樹記念パネルの碑を設置した時にお会いしました。

長年にわたるご功績に感謝し、追悼と哀悼の意といたします。

〈功績〉

○故・荒井士郎氏

（昭和34年窯業科卒）
平成15年6月 東京会工会11代会長に就任し、平成25年までの10年間その任務を果たしました。

①平成17年より卒業生全員にPR文書とタオルを配布
安藤染店・安藤昭男氏（昭35年染織科卒）に依頼し作成。本部同窓会入会式に配布。
②東京会工会百周年記念事業として
平成17年3月に母校へ桜苗木植樹祭
・百周年記念誌発行
③毎年6月定期総会を開催（上野・精養軒）
④地引き綱・梨狩り・芋煮会・ゴルフ大会等

この十年、そのすべての事業や活動には常に荒井氏の存在と活躍があったのである。その尽力と功績に対しては、唯々敬服し頭の下がる思いである。

今後残された我々は、荒井氏の御遺志に対しセラ友会の更なる発展と充実に務めて参る所存であります。ここに故荒井氏の



東山グランドホテル 11名参加
当時の窯業科職員 梨子本傑先生を囲んで

クラス会

福島県立

会津工業高等学校 窯業科卒業 41Kクラス会

梨子本 傑

（S41K卒）

今回のクラス会は、卒業して50年の記念であるので2泊3日を実施しました。会場は伊東温泉で9名参加。その間富士山周辺・伊豆方面の観光も行った。ホテルでは夜遅くまで懐かしい話題で盛り上がり、旧交を温めました。2年後には古希お祝いで再会することを約束し散会しました。

昭和49年卒窯業科 還暦クラス会

代表幹事 三富 貴良

（昭49K卒）

再生可能エネルギー 普及を通じた地域復興への取り組み

織笠 哲也

（平10C卒）

私はセラミック科第1期生として平成元年に卒業し、自衛隊、電機メーカー営業を経て震災前は居酒屋を営んでおりました。居酒屋の経営も12年を迎え、店舗をリニューアルしたのが震災前の2011年2月8日でした。その後訪れた東日本大震災。この日は私は保原町で打ち合わせをしておりましたが、会津よりも震源地に近いこともあって揺れが強く危うく屋根の下敷きになるという状況でした。この日の経験から人の命というものは本当にいつ無くなるかわからないということを痛感致しました。その後起きた原発事故により目に見えない放射能に、子供を持つ父親として、経営者として悩む日々が続きました。そんな時に参加した放射能に関するセミナーの講師が300人程度の聴衆に問いかけました。「皆さんはここにイギリス産の野菜とチエルノブイリ産の野菜があったらどちらを食べま

REPORT & MESSAGE

我が劣等学生時代 を振り返って

山本 次男

（S31K卒）

「よく学びよく遊ぶ」(All work no play makes Jack a dull boy 勉強三昧がジャックを鈍い少年にする)という諺がよく言われますが、私の会工の学生時代は遊びがなく遊んでばかりの学生時代でした。当時の恩師は、大竹五郎科長を始め高畑、鈴木、橋本他の各先生方でした。中でも高畑先生にはいつもよく怒られてばかりでした。化学の実習実験の時間に私は先生から一番距離のある窓際の最後列に陣取っていました。実験台は立っていれば腰あたりまでであり先生からすぐ顔が見られてしまうのでサボることはできません。そこで先生から直接顔が見えないように床に腰を下ろして漫画の本を読んでいた。そこに先生が廻って来て「ボラ ヤマトまた何をやってる」とよく叱られました。



う勉強はしなかった。したがって成績も辛うじて赤点を免れたような状態であり、学級の成績は当然ながらビリから数えたほうがはやい成績でした。

そんな状態の中、私は必ずと言っていいほど毎年1〜2度は職員室に呼び出されました。このことが何とも言うに言われぬ嫌な思い出でした。それは私の叔父（会工出身）が絵描きで、帝展に2〜3度入選した画伯であり、雅号を『酒井白澄』といい、芸術家の大竹先生とは刎頭の友であった。呼び出されても先生や叔父から何も言われることは

なかったが、成績の悪い者が職員室に行くこと自体ほんとうに苦痛でした。

それでも学生生活は大変楽しく、学業以外では生徒会の役員や白虎隊の詩吟剣舞等に所属し活発に体を動かすことに専念したような生徒であった。私は奥会津出身で自宅から通うことは無理なため鶴ヶ城の近くの下宿屋さんに同じ故郷の中学から一緒だった友人と6畳一間に2人で下宿していました。そのほかに会津高校の学生が5〜6人おり、みんな大変な勉強家でも大学受験の話をしておりました。その影響もあって私も在学2年生の中頃から大学への興味を持ちはじめ英語は意識して勉強をするようになっていた。

そんなこんな遊びの3年間で過ぎ去ろうとしているとう就職の時期がやってきました。東京にあるセラミックコンデンサーの製造会社に就職が決まり卒業式の一か月前から研修生として勤務することとなり、研究室に配属になりました。研究室の構成は室長が東工大の名誉教授で工学博士、その他に名大・理科大・早大卒の理工系の方など6人ほどのごちんまりとした

研究室であった。そこでの私の仕事は朝から晩までセラミックコンデンサーの試作品作りに没頭しました。先輩の指導のもと試行錯誤をかさね、数種類の化学物質の粉末を調査し作成することが基本でした。その調査割合は辞書を片手に「American Ceramics」という月刊学術書に載っている研究方法を参考にし、数十種類のサンプルを成型し、プレス加工して超高温窯で焼き上げ、その中から最も電気伝導率のよいものを測定器で測定し、その作成過程を詳細に記録すると同時に上司に報告して現場に流すことでした。精緻な技能を要する作業ではあったが、仕事は毎日楽しく充実した日々であった。今日のようにICが電子工業会を席巻している時代ではなかったので市場の需要は大きかった。

京セラの稲盛会長曰く『セラミックコンデンサーという製品は電子工業向けの製品ですから極めて高い精度が要求されます。わずかな寸法違いや焼きムラ、変形も許されません。』稲盛和夫著生き方070頁。

終業時になると日中調合作業で白い粉末で真っ白になった体をシャワーで洗い流し、大学受験の予備校に向って駆け足で門の守衛所を後にした。2年後明

そうすると会津は食料だけではなく、エネルギーについても宝庫であることが分かりました。ならば、この足下にあるエネルギーを活用して、会津に新たな産業を興し、雇用と納税を増やす。そして、その為に再度新しいチャレンジを行なう決意をいたしました。

これからも百年後の子供達に豊かな会津をバトンタッチできる日を夢見て、地域の皆様と一緒にこれからも活動していきたいと考えております。

乾坤秀靈

今年度受賞・活躍された方々

男子400リレー 会津工高が制す



【男子400mリレー決勝】41秒67で優勝した会津工高の（左から）大竹悠介、秋山宗大、菊地陵、高波佑樹
＝とうほう・みんなのスタジアム

男子400リレー
会津工高が制す

○男子400メートルをスタートに成功、2走の秋山宗大（2年）が10秒台の好タイムをマークすると、「バトンをマークする」と「バトンエイムのイメージ」を共有してきたという3走の菊地陵（3

年)から4走の高波佑樹(3年)とつなぎ、先頭でフィニッシュした。

テスト期間が重なり「十分な練習ができなかった」と漏らす、その不安を感じさせないレース運びで周囲を圧倒。波に乗る選手たちは「次は県高校記録を狙う」と意気込んだ。

福島民友

母校に焼物物産地図鑑寄贈

母校に焼き物産地図鑑寄贈
会津工高OBの坂場さん



図鑑シリーズを寄贈した坂場さん（前列右）と梨子本さん（後列左）。前列中央は山内教頭

会津若松市の総合工
フット商社、玉造陶房、
社長の坂場恒雄さん
は、後輩、役立ってほ
しいと、母校の会津工
高セラミック化学科に
「全国やきもの産地の
図鑑シリーズ」全四十
五万冊相当という、同
校図書館で保管し、生
徒が閲覧できるように
板場さんは、同高の
薬学科、セラミック科
でセラミック化学科の
同窓生らでつくる「セ
ラ友会」の前会長で、

現在には、養護顧問を務める。贈呈式には梨子本傑事務局長が同行した。学校側からセラミック化学科主任の大塚正幸教諭と伊藤順子図書館長が同席した。

情報処理の国家資格
会津工高の3年生



合格した生徒と石本教諭（後列左）

「パスポート」11人合格

国家資格
「ITパスポート」11人合格

基準以上(30%)でかつ、全体の正答率60%以上が合格するといふ。表計算や文書作成から一般教養など幅広い知識が求められる。取得していると、入社試験や大学入試などで有利にもなるという。

同校情報技術科の石本智道教師(四)が、より実用的な資格を身に付けもらおうと数年前から、クラス全員に受験させている。昨年の合格者は数人だったという。今回は昨年秋季から放課後に一時間ほど補習を行い、過去の問題などを繰り返し解く

合格者の一人でホー
ムルーム長の皆川海都
君(こ)は「先生や仲間
とともに頑張ってた。こ
れがプログラマーなど
に興味があり、学んだ
技術を古里復興のため
などに役立てたい」と
話している。

福島民報社

放課後の努力実る

「ＩＴパスポート試験」は平成二十一年に新たに情報処理技術者試験に追加された、情報処理に関する国家資格の一つ。ＩＴ社会における基礎知識を問う試験で、財務諸表や一般的な教養を含む「ストラテジ系」、システム開発手法の環境整備などの「マネジメント系」、「コンピューターやソフトウェア技術者に関する（テクニカル）系」の三分野から出題される。全百問で千点満点、パソコンを使って問題を解き三分野の点数が

出来ましたこと深く謝意を表わしたく思います。有難うございました。

昔物語
國民学校の一年生

津田進

(昭29K卒)

尋常高等小学校が国民学校と改められ、児童・生徒が最初に手にする国定教科書「こくご」の一頁の言葉が社会的に注目されていた。私（少年）が手にしたものは、「アカイ・アカイ・アサヒ アサヒ」であった。

ちなみに兄との年齢差は八歳で、姉とは五歳であるが、文章は「サイタ サイタ サクラガサイタ」であった。

第二次世界大戦が始まった事情により（昭和十六年十二月八日）教育関係全般に渡つてこれまでの指導方針や内容が改訂されたことには、当然、国を挙げて戦時体制を組む意が込められたものと考えられる。

この改変の内容を表徴している言葉が、「アカイ・アサヒ」なのだろう。この文面につき学

級担任の説明や解釈がなされたものと考えられるが、その記憶はない。

国民学校へ入学して、最初に
 出合う「ことば」が国家・国旗
 に関するものであることは、子
 のような状況であればこそ、大
 人達は黙認を含めて、軍国への
 流れを肯定せざるを得なかつた
 ものと考えられるが、児童・生
 徒にとっては、なんの疑念や思
 い込みもなく、少々の興味・関
 心を寄せる程度ではなかつたか。
 一方「サクラ」は国の花とし
 て、永い間、親しみ、好まれて
 きた。特に桜の咲き際は、総じ
 てわれ先と咲き誇り、散り際の
 様態は、それぞれに時や光を得
 て、かすかな風をも抱き、ハラ
 ハラと舞い散る風情に観る人々
 の生命の有り様を重ね、その移
 りに儚さや潔さを感じとれる

と、ことばの深さも感得できる。しかし、このような文言が「富国強兵」「八紘一宇」「大東亜共栄圏」の世界を目指し展開する国家政策のスタートを意図したものであるならば、見逃すことはできないものであった。

この「サクラ」と「アサヒ」ということばに対する日本人の感慨は、多様であることが長じてわかりかけてきた。多くの風人々は、花や雄大な自然界の風景・光景に感情移入をしたり、詩歌の中に桜花の生涯の在りようを見習わせるような運動が働いていたのではないか。例えば、大戦の終段に発揮された特攻隊員の制服は、「七ツボタンはサクラに鉦……」と歌唱されたことなどは、隊員の心理面をつき、少しでも緩やかにし、生死の苦・戦争の残酷さ、その理不尽さを超越して、美化することが必要があったのだろうか。



今年度受賞・活躍された方々

民家の甲子園 会津工高3位入賞

会津工高が3位入賞
「民家の甲子園」県議会議長に報告



斎藤議長(左手前)に入賞を報告する(右から)石本教諭、鈴木さん、小柳さん、雲野さん

高校生の民家や町並みの写真を通じて古里の魅力を発信する「民家の甲子園」で県代表十九日、県庁を訪れ、

斎藤議長(左手前)に入賞を報告する(右から)石本教諭、鈴木さん、小柳さん、雲野さん

福島民報社

會工元気会和やかに懇親



第十八回
会工元気会総会開催

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、毎年十月中旬に開催しています。今年は十月十五日(木)に会津若松市内の會津迎賓館「寿し万」にて四十八名の出席のもと開催されました。遠くは二本松市の小島喜一先生、郡山市は郡司正孝先生・熊田良治先生もご出席していただきました。

全米テニスジュニア日本チームコーチ 佐藤直樹さん(会津工教諭)表敬訪問



全米テニスジュニア日本チームコーチ
佐藤さん 市長表敬

室井市長(左)と佐藤教諭(中央)と川村理事長

「大会運営法学びたい」

米国で9月上旬に開かれた全米オープンテニスの全米オープンジュニア大会日本選手団のコーチとして派遣された会津工高教諭の佐藤直樹さん(48)は28日、会津若松市役所に室井照平市長を表敬訪問し、大会への派遣を報告した。全国高体連テニス専門部による派遣。佐藤さんは県高体連テニス専門委員長を務めている。同市では、2017(平成29)年8月に会津総合運動公園で全国高協会理事長が同行した。

福島民友

瑞宝双光章受章



☆瑞宝双光章
わたなべ たかお
渡部 孝雄さん 68
会津若松市門田町堤沢
会津若松市出身。会津工高卒。昭和四十二年に

会津若松消防署の消防士として入った。平成二十一年に会津美里消防署長で退職。現場で住民を災害から守り続けた。家族、同僚と地元消防団に支えられた消防人生でした。

福島民報社

学校力



教頭 鈴木 稔

会津工業高等学校同窓会の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に對して多大なるご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。皆様により一〇〇周年記念事業で建設いただいた同窓会館「鶴翔会館」は、長期休業期間中に多くの生徒が利用し、部活動の強化等につながっていることを報告させていただきます。

さて、近年、学校をとりまく社会的環境の変化に伴い、「学校力」という考え方が注目され、この向上が求められています。学校力とは、「生徒の生きる力を育む学校の組織的な働き」であり、生徒が学校への帰属意識をもって生き生きと意欲的に学校生活を送っているかどうかその指標であるとともに、ある意味学校力なのではと私は思っています。その向上のために、本校は企業等の連携や教育環境の整備など様々な手立てを講じていますが、今年度、陸上部の東北高校総体400mリレー優勝、IT研究部の「民家の甲子園」全国大会3位入賞、ものづくりコンテスト旋盤部門東北大会3位入賞などの活躍があったことは嬉しい限りです。

近年の産業構造の変化に伴う職業の多様化、職業人の知識・技術・技能の高度化などから工業高校への期待が益々高まっています。今年度は、三年に一度の会工祭が開催される年でもありますので、更に一層、愛校心の醸成や工業技術者としての意識高揚を図る教育に努めて参ります。同窓会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い致します。

進路指導部から

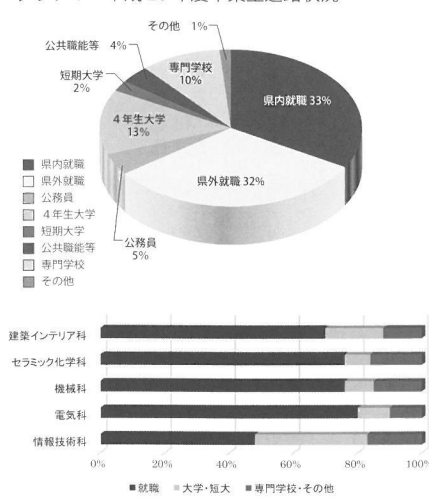


主任 菅家 慶広

進路関係の仕事を引き継ぎました菅家と申します。私もS56A科卒の同窓生です。どうぞよろしくお願いたします。

さて平成26年度の本校の進路状況は、就職者が約7割、進学者が約3割という結果で例年よりもやや就職者の割合が多かったようです。また建築インテリア科が1クラス多い学年でしたが就職希望者、進学希望者ともに3月中に内定もしくは合格を頂くことができ、おかげさまで卒業生全員の希望進路の実現に辿り着くことができました。

グラフ1 平成26年度卒業生進路状況



グラフ2 平成27年3月卒業生の進路状況(科別)

就職者の合計は、175名で卒業生全体の65%程度となりました。就職者の内訳は、4年制大学・短大がその半数を超え、残りが専門学校進学というものでした。国立大学には5名合格しました。大学進学者の多くは、工業系の学部に進んでいます。

ところで来校いただく多くの企業の人事担当者の方のお話を伺いますと、本校の卒業生は人間性、仕事ぶりなどにおいて非常に高い評価を得ています。また企業にとって欠かせない主力になって活躍されているOB・OGの方も少なくありません。今後も生徒達の夢実現のため、そして本校の歴史と伝統に恥じない社会人を輩出すべくしっかりと職員一同、進路指導に当たっていききたい所存です。

27年度新入生

1学年主任 村田 光夫

創立百十余年、伝統あるこの会津工業高校に今年も新たに240名の生徒が入学してきました。諸先輩方が築かれた伝統を汚すことなく、3年間を過ごしてくれることを祈っています。今年の1年生は、I期、II期選抜共に全学科が定員を超えて希望者が集まりました。その難関を見事に突破し選抜された240名です。入学当初、期待と不安でいっぱいだった生徒たちも、いつの間にか学校生活に慣れ、今は部活に学業にそして資格取得に一生懸命取り組んでいます。

1学期を振り返ってみますと、4月入学間もない生徒たちに校歌・応援歌練習という試練が待っていました。毎年恒例になっている上級生による教えは、もはや伝統行事と言っても過言ではないほど定着しています。これほどの練習は、周辺の高校でも珍しいのではないのでしょうか。4日間の練習を終えて、全然歌えなかった生徒も大きな声を出して歌えるようになりました。これで、立派な会工生の一員になりました。4月の下旬には、これも恒例のお城に向いての新入生歓迎会を行いました。各学科毎にお城の集合場所に集まりレクリエーションなどをして楽しみました。6月には、強歩大会がありました。諸先輩方の時代は3年に一度の行事でしたが、昨年よりマラソン大会の代わりというこ

とでこの強歩大会が毎年行われることになりました。距離も昔は30km以上もあったと聞きました。今年度は12km程度と半分以下の距離で行いました。天候にも恵まれ、全員完走（完歩？）しました。7月には、これもまた恒例の球技大会が行われました。昔と違って、今はほとんどのクラスがクラス独自のTシャツを作り、それを着て大会に臨みました。以上のように、勉強以外の様々な学校行事があり、生徒たちは有意義に過ごしていたと思います。10月には、3年に一度の会工祭があります。各クラスが趣向を凝らした催し物を企画したいと考えています。そんな後輩たちの活躍を是非、来場されて見てみてください。学年全員、諸先輩方の来場をお待ちしています。

私は、教員生活を今年で32年目を迎えますが、教員なり立ての時と現在の生徒の大きな違いは、大部おとなしくなったことでしょうか。以前の生徒指導では、喫煙、万引き、自転車窃盗など年間に何回も指導された生徒がいましたが、最近ではほとんどそういった指導はなくなっています。1年生も同様に特別指導がほとんどなく担任としては助かっています。このまま特別指導が1件もなく過ごしていってほしいと思います。

諸先輩方の様々な場面での応援を今後もよろしくお願いいたします。

現在

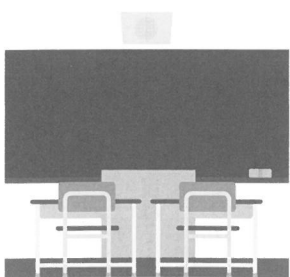
2学年主任 加藤 義勝

新たに2年生としての生活が始まり、約6ヶ月が経っています。今後の学校生活や進路に向けてどうしていくべきか？を一人ひとり考えられるよう、また行動できるよう指導していきたいと思っています。今年は上級生として、学校行事・生徒会行事・部活動など様々な場面において、中心となつての行動が期待されますので、中堅学年として3年生を補佐し、1年生を導いて欲しいものです。

生徒達の様子はというと、勉強に部活動に取り組みながら活発に生活しています。しかし、中には自分の目標が決まらずにどうすればよいかわからない生徒もいますが、徐々に道を示していければと思います。高校時代のちやうど中間点となったこの時、いろいろな面で意識を高めていきたいと思っています。

今年の修学旅行は、京都・奈良・大阪の関西方面へ行きますので、生徒達が見聞を広められる機会でもあります。また、3年に一度の会工祭がありますので、慌ただしくなることでしょう。そのような中で学年として団結力を強め、一年後の進路決定に向けて強い心を養わせたいと思います。

今後とも母校、会津工業へのご支援・ご協力をお願いいたします。



就職戦線まっただなか

3学年主任 滝沢 全

この原稿を書いている9月10日、大雨警報がでており、電車が運休になりました。50年に一度の大雨だそうです。台風17号の影響ですが、夏休みが終わってずっとすっきりしない天気が続いており、野菜農家は日照不足で困っています。夏休みに入ったばかりの7月下旬は、連日35℃を超え雨が降らずに困っていたのですから、温暖化のせいか天気の変化がこの頃極端です。

夏休みに入って、暑い、暑い教室で、汗をかきながら三者面談を行い、就職希望の会社を決めました。今年の求人状況はとても好調で、大手の会社でも希望者が出ないような状況でした。夏休み中盤は、事前会社見学です。緊張しながら会社を見学して、この会社に就職したいの思いを強くしたみたいです。夏休み終盤は、履歴書を書きました。志望動機がなかなか書けずに苦勞し、清書に何度も失敗し提出期限ギリギリで間に合いました。高校最後の夏休みは、引退した部活動に替わり就職活動で大忙しでした。

新学期が始まり、今度は面接練習、

一般常識の勉強です。科の先生方が中心になり面接練習を繰り返しています。が、なかなか思うようにならないみたいです。人前で敬語を使いハキハキと話すことは思ったより大変です。部活動など一心に打ち込んだものが無くダラダラ生活していた生徒は、自己PRができません。一般常識やSPIの対策も頑張ってきています。放課後、先生に教わっている姿が見られるようになりました。このやる気をもっと早く出せていればとも思いますが、頑張っているみたいです。

就職者は、今、自分の人生設計の大きな分かれ道に直面しています。9月16日試験開始です。全力で頑張ってくださいと思います。後に続く、進学、公務員希望者もそれぞれの希望を叶え、全員が笑顔で卒業していったほしいと思います。同窓会の皆様、半年後生徒達をあたたく迎えてやってください。



「松江賞」「同窓会賞」受賞!!

松江賞



建築インテリア科
広田 亜依



建築インテリア科
高橋 ありさ



機械科
菊地 瞭汰

僕の3年間の努力が報われたと思います。これからも数多くのことに挑戦し続けたいと思いました。

私は、入学した時から文武両道を目指していたので、この賞を受賞することができて、目標を達成することができてよかった。また、他にも頑張っている人がいる中で、このような賞がもらえることがとてもうれしい。これから努力をして行きたいと思う。



セラミック化学科
加藤 翔太

受賞してうれしく思う。これからも努力を続け、日々勉強していきたいと思う。賞を取るのには、決して楽な道ではありませんでしたが、様々な人の協力があったからこそ受賞できた。心からありがとうございました。



機械科
秋山 政也

受賞してうれしく思う。これからも努力を続け、日々勉強していきたいと思う。賞を取るのには、決して楽な道ではありませんでしたが、様々な人の協力があったからこそ受賞できた。心からありがとうございました。

同窓会賞



機械科
長尾 征和

まず私は鶴賞、松江賞、同窓会賞は他のクラスメイトが貰うと思っていたため、自分が貰えるとは思っていません。



建築インテリア科
森 千夏

A2は優秀な人がたくさんいるので、自分がこういった賞をいただけるとは思わなかったのでも嬉しいですね。このことを自信に、卒業後も頑張りたいと思います。



セラミック化学科
福地 優子



機械科
山崎 大地

このような賞を頂けて光栄です。在校生のみならず文武両道で頑張ってください。



電気科
玉川 拓夢

私は入学生時にたまたま学校を卒業するだけでなく、部活・勉強・資格に力を入れ、全力で取り組もうと思いついて、ジュニアマイスターを取り、ジュニアマイスターは5本の指に入る等々、色々な約束をしましたが、危険物は乙3を取る事が出来ず、約束は守れなかったと思います。ですが今はこの春から茨城のつくば国際大学へ行き、診療放射線技師になるための勉強をします。同窓会の役員の方々は機械科を卒業された方も多くいらっしやいました。なので僕も自分の道を自分のやり方でやっていこうと思います。大学を卒業する時は、今よりもっと色々なことに取り組み、胸をはって卒業したいと思っています。最後にこのような名誉ある賞をありがとうございました。



情報技術科
齋藤 和

私がこのような素晴らしい賞をいただけるとは思っていませんでした。ありがとうございました。



平和の覇者を育みぬ。

学び舎 ロケーション——1専門課程は、いま。

校歌から

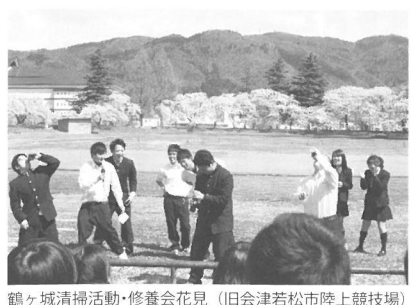


建築インテリア科

主任 田中 哲

日頃から、皆様方にはご支援いただきありがとうございます。社会に貢献できる人材の育成を目的に、在校生が益々活躍できるように、今後とも本科の教育活動に皆様のご理解ご協力をより一層お願いいたします。

さて、昨年度末の人事異動により、勿来工業高校へ鈴木武先生と長谷川秀平先生の2名が転出



鶴ヶ城清掃活動・修養会花見 (旧会津若松市陸上競技場)



建築設計競技コンペ指導: 3年生 (日本工業大学吉村准教授)



現場見学: 白河、須賀川 (県建設業協会)



◆1年
正担任: 佐藤 慶一 (社会)
副担任: 田中 哲
以上、クラス担任を合わせる
と10名で構成されております。

◆2年
正担任: 黒澤 静子
副担任: 神田 美香 (国語)
副担任: 沢川 順一 (理科)

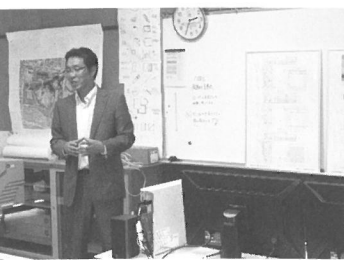
◆3年
正担任: 長谷川 徹
副担任: 田中 哲

【科職員】
長谷川 徹 菅家 慶広
黒澤 静子 岩淵 浩之
高橋 弘光 星 明宏
田中 哲

震災後の2クラスの生徒が卒業し、再び通常の学年1クラスに戻りました。現在3年生の進路は就職、進学が半々の状況です。日々の活動の成果を精一杯発揮し、内定・合格を勝ち得て欲しいものです。今年度の求人においては、昨年同様に建設関係企業が復興・オリンピック景気、産業人材確保などの需要で好調です。管内企業においても例年になく求人数が伸びておりますが、中々人員確保ができていない現状です。

《進路状況》

就職 (県内) 29名
(県外) 17名
公務員 3名
進学 (大学等) 14名
(専門学校等) 9名



高校生が参加する地域防災授業: 3年生 (佐藤建築設計佐藤社長)

《ジュニアマイスター顕彰》

シルバー受賞 4名

《資格取得》

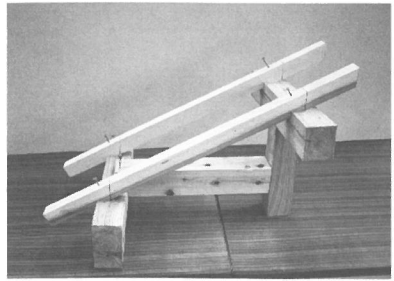
2級建築施工管理技術検定 14名
3級技能検定建築大工 1名

《今後の予定》

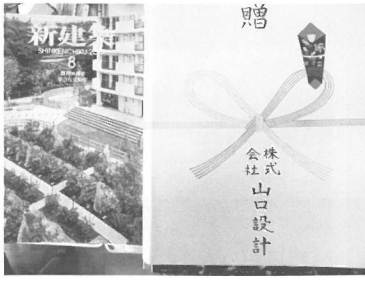
県高校生ものづくりコンテスト (郡山北工: 10月30日)
生徒作品展 (会津稽古堂: 2月12日~14日予定)



インターンシップ「現場実習: 2年生」 (県建設業協会)



三級技能士生徒作品



山口設計様より「新建築」寄贈



ものづくりマイスター制度 (県職業能力開発協会) 倉本建築倉本社長

C

セラミック化学科

主任 大塚 正幸

全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にて活躍のことと存じます。また、本校セラミック化学科の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

今年度もセラミック化学科では、地域に根ざし社会に貢献できる人材の育成を目指し、日々の教育活動を進めております。
〔セラミック化学科の様子〕

○生徒状況

平成26年度3月に担任の川井勉（数学）が38名の卒業生（女子19名）を送り出し、平成27年



科対面式

度4月には40名の新入生（女子21名）を迎え入れ、2年生39名（女子20名）、3年生40名（20名）の生徒合計119名（女子63名）でスタートしました。

○職員構成

科職員は、大塚正幸、村田光夫、村山彰一、藤澤健一、熊田志郎、大澤達明の6名です。各学年の担任は、1学年・担任村田光夫、副担任川井、2学年・担任加藤義勝（体育）、副担任村山、3学年・担任高橋温仁（音楽）、副担任大塚となっております。

〔生徒達の活躍〕

文武両道のもと、生徒達は日々の学校生活の中で、部活動、資格取得などに励んでおります。特に今年度は、部活動で活躍している生徒が多いようです。本校では、陸上部、ボクシング部、水泳部、新体操部の4つの運動部が全国大会に出場しました。このうち3つの部活動でセラミック化学科の生徒が出場しております。

○陸上部…3年大竹悠介、3年菊地陵の2名が100m×4のリレーメンバー
○水泳部…2年安部萌未が飛込競技（高飛込、3m板飛込）
○ボクシング部…3年藤田優佑がフライ級

また、セラミック化学科では、各種美術展や地域貢献などで活躍しております。

○セラミック化学部（陶芸班）…3年鈴木優が福島県総合美術

展覧会で青少年美術奨励賞 このほかにも多くの生徒が、県大会や東北大会に出場して活躍しております。また、校内においても、3年生が7月実施の球技大会で総合優勝するなど活躍しております。

〔主な学科の取組と今後の予定〕

4月 科対面式 セラ友会花見 図鑑贈呈式 会津総合美術展 出品
5月 会津看護学校との交流学習 ① 福島県総合美術展出品 6月 会津看護学校との交流学習 ② 工場見学（3年） 会津セラミックス懇話会 ふれあい茶会 テキサス州視察団との交流 セラミック能力検定（3年）
7月 工場見学（1年） 陶芸技能検定 セラ友会（同窓会） 8月 会津本郷せと市 化学系分科会（本校当番）



会津看護学校との交流学習



3年工場見学（日曹金属化学科）



1年工場見学（宗像薬）

9月 合同HR（球技）
10月 会工祭 ものづくりコンテスト（化学分析）
11月 工場見学（2年）
12月 リスクコミュニケーションショー事業（3年）
1月 ろくろろ技能検定 陶磁器能力検定（1年）
2月 セラ友会（同窓会）入会式
3月 卒業式



陶芸技能検定



工芸デザイン授業風景

〔同窓生からの図鑑寄贈〕 同窓生の皆様には、いつもお世話になっておりますが、4月に坂垣恒雄様（昭34卒）より「全国やきもの産地の図鑑シリーズ・14巻」を、寄贈していただきました。生徒の教育活動に活用させていただきます。最後に、同窓生の皆様が、会工卒に誇りを持ってもらえるように、在校生も会工生としての誇りと自覚を持って高校生活を送り、卒業時には生徒全員の希望進路が実現できるように、職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともセラミック化学科の教育活動にご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



会津本郷せと市



ふれあい茶会

M

機械科

科長 渡部 哲

今年度の人事異動では、本校に新採用で着任し、卒業生を送り出した吉田孝明先生が、喜多方桐桜高校に転出されました。代わって、清陵情報高校から齊藤雅夫先生が着任され、今年度は、1名減の13名のメンバーでのスタートになりました。今年の機械科の職員構成は、20代2名・30代4名、40代1名・50代6名になり、本校の工業科では、最もバランスのとれた年代構成と自負しているところです。

また担任は、1年生は1組鈴木雅博教諭・2組阿部友一教諭、2年生は1組由田桂一教諭・2組児島二郎教諭、3年生は1組益子茂教諭・2組齋藤正志教諭の6名でクラス経営にあたっています。

我々は、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。また、最近、基礎学力の低下が心配されており、基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図るべく、職員一丸となって取り組んでいる所です。

昨年から今年にかけての、機



第10回中小企業総合展の様子

械科の各種の取り組みや現状について簡単に報告させていただきます。

〔機械科の行事から〕

・4月 新入生対面式
機械会花見
同窓会機友会から機械研修部への激励金贈呈式
・7月
ガス溶接技能講習会
三級技能検定（普通旋盤）前期講習会及び試験
・9月
機械製図検定試験
基礎製図検定
ふいご祭り
・11月
三級技能検定（普通旋盤）後期講習会及び試験
・12月
機械科課題研究発表会
同窓会機友会入会式
〔進路について〕

昨年の進路状況は、就職54名、公務員4名、四年生大学6



ものづくりコンテスト2015東北大会表彰式



第6回3-DCADプロダクツ・デザインコンテスト

〔各種大会での参加と活躍〕
○福島県高校生ものづくりコンテスト2014旋盤作業部門 優勝
（2年1組 玉川 怜君）
○高校生ものづくりコンテスト2015東北大会旋盤作業部門 第3位
（3年1組 玉川 怜君）
○ワールドエコノムープ2015（大潟村）
総合21位、Jークラス8位
○ホンダエコマイレッジチャレンジ2015もてぎ大会グループⅡ（高校生クラス）16位
○福島県高校生ロボット競技大会出場残念ながら決勝トーナメント出場ならず
○本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2015（高校生クラス4位）
（高校生クラス42位、二人乗）
〔各種イベントへとコンテストへの参加〕
○ロボコンinあいつ2014への参加と協力
○第6回3DCADプロダクツ・デザインコンテスト



ホンダ・エコマイレッジチャレンジ全国大会2015

ツ・デザインコンテストに参加（佳作）
○第10回中小企業総合展出品（3DCAD）と伝統工芸のコラボ品の試作
〔各種資格取得について〕
・機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー一級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検定（普通旋盤）など、専門分野の資格に多くの生徒が挑戦して、すばらしい結果を残しています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も多数でおります。

〔その他〕
・北3棟の実習棟が今年6月に大規模改修工事が終了して、機械科に引き渡されました。以前は、建築科の科務室や実習室があった建物ですが、現在は、機械科の実習室とボクシング部の練習場として利用しています。最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも機械科に対して、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。また、毎年、同窓会機友会から機械研修部に対して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。



改修された北3棟

E

電気科

主任 井上 浩一

今春の人事異動により、昨年の電気科卒業担任でありました清水裕二先生が喜多方桐桜高校へ、高野美早紀先生が郡山北工業高校に転勤されました。後任として、佐藤直樹先生が勿来工業高校より、阿部昇二先生が郡山北工業高校から着任され、電気科教員は6名であります。担任の先生方を紹介します。1年担任が佐久間智広先生で、担当教科工業、2年担任が鈴木秀希先生で、担当教科は数学であります。3年担任は滝沢全先生で、担当教科は理科・学年主任であります。

昨年・平成26年度電気科の活動状況をお知らせいたします。

1 H26就職・進学について
就職希望者31名中、県外企業に21名、県内企業に7名、公務員に3名の内定を頂きました。県内外から多くの求人を受けている結果であり、電気科卒業生ならびに同窓生の活躍が本校への求人に結びついている結果と感じております。

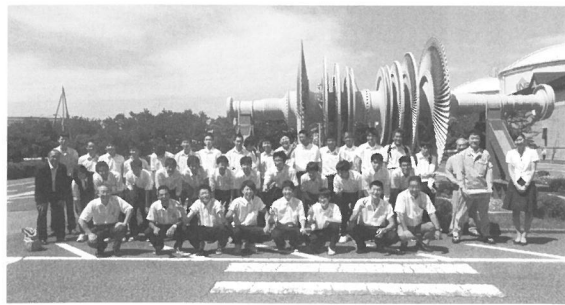
進学希望者8名中、国立大学の福島大学共生学類理工学部1名の合格者を含む4年生大

に4名、専門学校に2名、職能開発校に2名となっております。

2 H26発電所見学・工場見学
1年生 東新潟火力発電所
2年生 東新潟火力発電所
3年生 福島発電機

太陽光発電

電気科では、高校在籍中に、火力発電所見学・水力発電所見学、工業見学を通して、見識を深めることにしております。電気科は、H25、H26と文科省復興支援事業であります再生可能エネルギー事業の研究実践校となり、実践事業として発電所見学を位置づけ、H25に水力発電所をH26に火力発電所を見学いたしました。福島空港に隣接している福島発電機は、日本の全てのメーカーの太陽光パネルが



設置されており、本事業を推進する設備であり、目視点検の体験活動を行うこともできました。

ご協力くださいました企業様に感謝いたします。

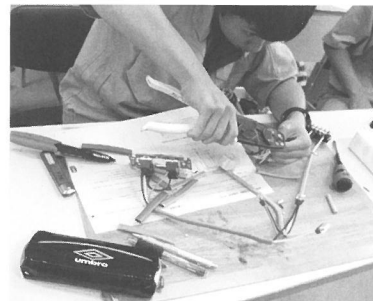
3 H26資格取得状況について
第2種電気工事士資格試験に、1年生26名、2・3年生15名の41名が合格しました。H26までの電気工事第2種取得率は下記の通りになります。
1年生 65.0% 2年生 89.7%
3年生 97.4%

平成23年度より、電気工事における実践力を重視し、4月より第2種電気工事資格取得講座を、1年生担当と2・3年生担当に分けて、放課後に補習授業を行っております。

生徒にとっては、入学時より電気への実践指導を受ける形になり、厳しい局面もみられますが、指導する側と生徒との目標が一致する点で、よりよい信頼関係が築けております。

高校卒業時、クラス内全員取得という目標達成には至っておりませんが、我々教職員一同、今後とも会津工業電気科卒業生の質を高めていく所存です。

上級試験であります第1種電気工事士試験に関しても、2・3年生を対象に補習授業を行い、取得を推奨しております。平成26年度は、9名の合格者を輩出することができました。第2種電気工事資格試験からの継続学習が生きた結果であると



思っております。
4 コンテストおよび外部行事について
福島県高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」に、2年生の代表生徒が参加いたしました。本校電気科の卒業生に外部講師をお願いし、専門性の高い電気工事技術を習得し、コンテストに臨みましたが、僅差の3位という結果に終わりました。彼にはこの悔しさを忘れず、後輩たちへ電気工事技術を伝えるもらいたいと思います。

以上、昨年度の電気科の主な活動状況を紹介しました。同窓生の皆様には、今後とも会津工業高校電気科の活動に目を向けていただけると幸いです。また、ご指導ご助力ご助言を頂けると、我々職員ならびに生徒にも励みになると思います。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

情報技術科の三年生も県内外で良好な結果を得ております。年内には就職内定率100%を目指しています。進学においても、地元をはじめ、様々な大学・専門学校等に進学しております。

情報技術科
主任 永山 小太郎
平成27年度は、2名の先生方を迎え、6名で担当しております。担任は、1学年に矢澤 敦教諭(理科)、2学年は小関裕一教諭(情報技術科)、3学年は石本智道教諭(情報技術科)が担当し、クラス経営にあたっております。現在、全学年で119名の生徒が情報技術科に在籍しております。

本校情報技術科が平成元年に設立され、27年目となりました。めまぐるしく変化している情報化社会の中で、常に新しい技術に注目しながら、基礎・基本をベースに各分野で即戦力になれる人材育成に取り組んでおります。

ここ数年、企業の求人数も上昇傾向にあり情報技術科の三年生も県内外で良好な結果を得ております。

◆各種大会などへの取組
・パソコン甲子園出場
・マイコンロボコン出場
・ジャパンマイコンカーラリー
・高校生ものづくりコンテスト
・民家の甲子園 全国大会3位
◆資格検定への取組
・電気通信工事担任者試験
・ITパスポート
・基本情報技術者
・情報技術検定
・パソコン利用技術検定

奮るえや会工の健男児 応援歌から

学び舎 ロケーション ②

2015会工、鍛えの各部

陸上競技部

顧問 ◎山田 賢
◎益子 茂

競技者として、判断力・決断力を身につけ、一人ひとりが目標実現のためチャレンジできるような練習に取り組んでいる。また競技だけではなく感謝と協調性・思いやりを大切に活動している。



バドミントン部

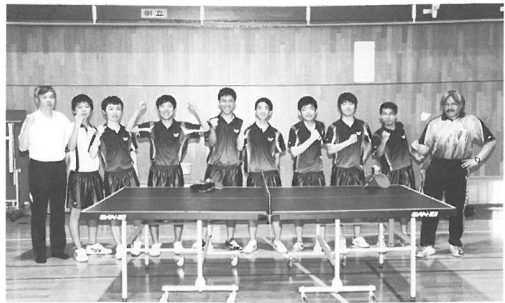
顧問 ◎鈴木 秀希
◎井上 浩一

バドミントン部は、男子16名、女子4名の計20名で活動しています。個人競技である印象を受けますが、相手やパートナーがいて成り立つ競技であり団体競技の一面もあると考えています。そのためチームで協力して活動することが重要であり、それらを通して人間関係を築くことや他人と接する際の礼儀・マナーを学ぶことができます。それぞれが高い目標を持ち、それに向かって日々努力していきたいと思います。



卓球部

顧問 ◎小林 憲司
◎児島 二郎



卓球部は顧問の小林先生、児島先生のもと2年生6人、1年生7人で活動しています。3年生は最後のインターハイ地区大会(県大会も含む)総体の地区大会まで活躍をしていた先輩もいました。私たちは県大会でも戦っている強い選手になることを大きな目標とし、一人一人課題を持ち日々の練習に一生懸命に取り組んでいます。

野球部

顧問 ◎小野 裕久
◎村山 彰一
◎鈴木 雅博
◎八巻 勤

「練習は嘘をつかない」この言葉のもと、私たちは、己に矢印を向けて、弱さを克服し、自己表現を重んじ、常に新しい自分へ進化していけるように努力しています。

今後とも精一杯をもって試合に取り組みます。



サッカー部

顧問 ◎江本 城幸
◎佐野 正司
◎高畑 利夫



高校サッカー選手権大会福島県大会の1次予選敗退に終わり、3年生にとって悔しい思いをしなが引退することになりました。7名と部員数では少なかったですが、非常にまとまっていた3年生でありました。

新チームは2年生22名、1年生25名、マネージャー2名の計49名になりました。11月13日か

体操部

顧問 ◎加藤 義勝
◎根本 直樹

現在の部員数は、男子3年生3名・2年生3名・1年生3名で、マネージャー1名の合計10名で日々練習に取り組んでいます。

今年度の大会では、県高校大会団体・個人優勝、東北大会や全国大会に出場しました。今後は今までの反省を生かして、技術面や精神面などのレベルアップを目指して、日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。





は4月当初は去年同様に学校の耐震工事の関係で若松市内にあるウエルネス会津ボクシングセンターで練習をさせてもらっていましたが、6月からは北3棟の耐震工事も終了し、3階の練習場で練習を再開しました。日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的なトレーニングを日替わりで3時間程度、休日は基礎的・実践的なトレーニングを4時間位実施しています。また、校内の合宿や県内・県外合宿も多く実施しています。

今年度は兵庫県で開催されたインターハイには、3年生4名が参加しました。結果は1名が1回戦負けでしたが、3名が1回戦に勝利し、1名がベスト16となりました。

また、第70回国民体育大会東北ブロック大会には3年生3名

が参加しました。結果は、3年生1名が優勝し、1名が2位で「紀の国わかやま国体」に3名が出場します。

上位大会に参加することで、自分達の現在のレベルを知ることができ、次の目標を明確にすることが出来ます。日々の練習では「練習ノート」を作成しながら客観的に自己を捉え、目標を段階的にステップアップさせて励んでいます。また、個々が自発的に練習に臨み全体のレベルアップを図っています。

3年生が国体終了後に引退すると、部員が1年生1名、2年生1名になってしまいます。

部員確保が急務になっていきます。現在、部員募集のポスターを作成中です。1年生は勿論、2年生の新人部員を募集しています。今から練習をすれば、来年のインターハイに十分間に合います。是非、北3棟3階の練習場に見学に来て欲しいと思います。

向上心を胸にこれからも部員と顧問が一体となって練習に励み結果を残し、平成29年度に会津若松市で開催されるインターハイの礎に行きたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

生活科学同好会

顧問 ◎西坂美穂子
和洋中華何にでも挑戦します。最近では食事を作るところか



コンビニでバランス良く選ぶことさえ出来ない人も多い中献立をたて、買い物をして段取り良く調理をし、家族とも楽しく食事ができます。ゆるい活動に見えますが生活力のつく同好会です。親元を離れても自活できると言い切り県外就職を乗り切った男子もいます。すでに肉じゃがは得意料理ですが、一番の楽しみは一人一個のクリスマスケーキづくりです。

建築インテリア部

顧問 ◎高橋 弘光
建築インテリア部では、主として高校生ものづくりコンテストに向けて練習を行っています。去年大会に参加した3年生が、2年生の今年の選手に指導をする体制が整ってきました。技能検定3級建築大工に合格した生徒が2級に挑戦します。後期技能検定3級建築大工に2年生



2名が挑戦します。

平成26年度ものづくりマイスター制度を利用し高度熟練指導者から1年生から3年生までの24名が、技術的な指導や道具の安全な使い方や手入れの方法について直接指導を受けています。

電気部

顧問 ◎中野 善司 ◎阿部 昇二
私たちの部活は省エネ自作自動車の競技を目的として活動し、5月初旬にはワールドエコノムープ2015（電気自動車競技・秋田県）に始まり、6月中旬には1年生部員のデビュー戦で本田宗一郎杯Hondaエコ・マイルレッジ・チャレンジ

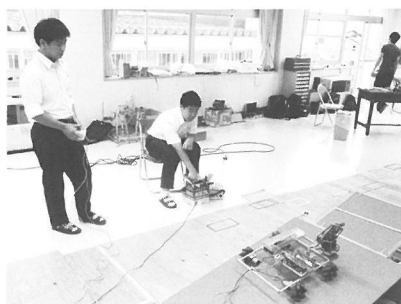
機械研修部

カートの顧問 ◎高橋 浩二
茂木 利幸
他機械科職員
ロボット班顧問 ◎大竹 良宣
齊藤 雅夫
他機械科職員



2015もてぎ大会（ガソリンエンジン競技・栃木県）、9月下旬には本田宗一郎杯Hondaエコ・マイルレッジ・チャレンジ2015第35回全国大会（ガソリンエンジン競技・栃木県）に出場しております。記録・入賞を目指し頑張っていますので応援よろしくお願いたします。

ロボット班の活動



主に毎年行われている県高校ロボット競技大会に向けて製作しています。今年は、9月25日に行われますが奇抜なアイデアを出し合いまた操作練習をしつつ行い、今年こそは全国大会を目指し頑張りたいと思います。また、11月には会津美里町でのロボコンin会津にも出場し入賞を目指します。応援よろしくお願いたします。

セラミック化学部

顧問 ◎村田 光夫
大演 達明
熊田 志郎
今年度、会津総合美術展において青少年奨励賞を受賞したり、6月の県総合美術展では数年ぶりに青少年美術奨励賞をいただきました。日ごろの努力が報われた結果だと喜んでおります。このほか、地域貢献活動としては、毎年5月のお茶会や、8月のせと市に参加して地元の人たちとの交流を深めています。11月には、毎年恒例の市民美術展に出展予定です。10月には3年に一度の会工祭がありミセと市を行う予定です。



会津郷せと市販売風景

IT研究部

顧問 ◎石本 智道 ◎山本 義文
IT研究部は情報技術科の生徒で構成されている部活です。放課後に情報技術科の実習室やプログラム実習室で活動を行っています。メンバーは1年生から3年生まで実に幅広く個性豊かな生徒が多く在籍しています。おかげで実習室はにぎやかに楽しい雰囲気を取り組んでいます。



美術部

努力を惜しまずがんばっています。

また、会津大学や地元企業と連携し、勉強会や研究協力も行っています。ほかにも、IT系大会運営サポートや大会ボランティアも積極的にこなしてきました。

IT研究部のメンバーは、優秀で真面目な生徒がそろっているため、今後は今まで以上に活発な活動をしていきます。応援よろしくお願いたします。



美術部では、展覧会に向けた作品制作、年間を通して行われるコンクールに取り組んでいます。今後の予定としては、「あいつまちなかアートプロジェクト2015」において10月3日～10月12日に會津稽古堂で行わ

演劇部

顧問 ◎石田由紀子 ◎内藤美恵子
私たち演劇部は、三年生が進路活動のために休部し、一・二年生を中心に活動しています。現在は、演劇部として一番の大会である秋のコンクールへ向けて一生懸命練習しているところです。一・二年生だけではまだまだ不安はありますが、三年生の先輩方も忙しい時間の合間をぬって様子を見て来て下さるので、それを支えに皆で協力して劇を作っています。



写真部

顧問 ◎神田 美香
滝沢 全



私達写真部は、週一回集まって、それぞれが撮った写真を発表し、評価などをする活動をしています。

今年は高文連県写真展が十月一日（木）から四日（日）まで会津若松市文化センターで行われます。この写真展を成功させ

アマチュア無線部

顧問 ◎中丸 淳 ◎村田 光夫
今年の部員は、3年生1名、2年生2名の3人で始まりました。3年生は免許を持っていますが、2年生は持っていないため5月の郡山で行われた養成講習会に参加して念願の免許を取得しました。クラブの活動としては、アンテナの整備、シャック（部室）の清掃、受信練習などです。3人ともまだ初心者なので受信の練習をさせて本番の交信に役立たせたいと思っています。JARL（日本アマチュア無線連盟）にも加入して、準備万端というところでしょうか。後は、受信の成果を出して思う存分世界各国と交信してもらいます。アンテナもHFから



430まで整備済みです。諸先輩方アマチュア無線をやられている方がおられましたら、つながったときはよろしくお願いたします。こちらは、JAF YCB会津工業高校アマチュア無線クラブです。

吹奏楽部

顧問 ◎高橋 温仁
◎小関 裕一
◎品川 美香

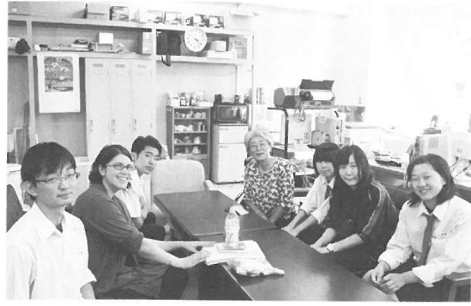


今年も新入部員10名を加えてスタートしました。他校の吹奏楽部が次第に女子化していく中、女子みだいな男子を多数保有する貴重な存在の部です。主な活動として夏のコンクール、10月の定期演奏会、12月のアンサンブルコンテストなどです。赤点寸前の点数でギリギリ

英会話部

顧問 ◎伊藤 順子

今年は、3年男子2名に、1年女子3名が加わり、より活動的になりました。英会話部では何回か活動を重ねるうちにローリー先生とはさらに仲良くなり今では英語で話すことの抵抗はありません。また部員も少し増えました。英会話の活動が毎回楽しくて、金曜日の1時間だけでは物足りないくらいです。活動を楽しみながら、英会話力を向上させていきたいです。



茶道同好会

顧問 ◎佐藤 みき

茶道同好会は、発足から三年目を迎えます。少人数ではありますが、茶道の先生のご指導のもと、日々稽古をしています。写真の「火の郷・向羽黒山城跡ふれあい茶会」や「あやめ祭り」などの校外行事では、日本の古き良き伝統とお茶の香りを楽しみなからお点前を披露し、またたくさんの方々と交流してきました。今後のお茶会や行事に向けてさらに精進していこうと励んでいます。



部活動大会結果報告

〈体操部〉

●第61回高体連会津地区大会
団体競技
個人総合 1位
萩原 大恭

●第65回全会津総合体育大会
団体総合 1位
萩原 大恭

●第61回福島県高等学校体育大会
団体競技
個人総合 1位
萩原 大恭

●第44回東北高等学校新体操選手権大会
団体競技
個人総合 6位
萩原 大恭

●第68回福島県総合体育大会
個人種目別
スティック
1位
萩原 大恭

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
団体競技
個人総合 5位
萩原 大恭

●第68回福島県総合体育大会
個人種目別
スティック
1位
萩原 大恭

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
団体競技
個人総合 5位
萩原 大恭

●第68回福島県総合体育大会
個人種目別
スティック
1位
萩原 大恭

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
団体競技
個人総合 5位
萩原 大恭

●第68回福島県総合体育大会
個人種目別
スティック
1位
萩原 大恭

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
団体競技
個人総合 5位
萩原 大恭

●第68回福島県総合体育大会
個人種目別
スティック
1位
萩原 大恭

〈水泳部〉

●第61回福島県高等学校体育大会
水泳競技
競泳
男子400mフリーリレー 3位
（金田、鈴木啓、鈴木理、佐藤隆）

●第65回全会津総合体育大会
男子800mフリーリレー 5位
（金田、鈴木啓、鈴木理、佐藤隆）

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
男子50m自由形 1位
佐藤隆之介

●第68回福島県総合体育大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第68回福島県総合体育大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第68回福島県総合体育大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第68回福島県総合体育大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第68回福島県総合体育大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
男子100m自由形 3位
佐藤隆之介

〈バスケットボール部〉

●同高体連・県大会
ベスト8

●第65回全会津総合体育大会
準優勝

●第68回福島県総合体育大会
ベスト8

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
1回戦敗退

●第65回全会津総合体育大会
予選敗退

●第61回福島県高等学校体育大会
予選敗退

●第68回福島県総合体育大会
予選敗退

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
予選敗退

●第68回福島県総合体育大会
予選敗退

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
予選敗退

●第68回福島県総合体育大会
予選敗退

●第61回東北高等学校新体操選手権大会
予選敗退

●第68回福島県総合体育大会
予選敗退

〈陸上競技部〉

●第54回福島県高等学校新人陸上競技大会
八種競技 第1位
高波 佑樹

●第61回福島県高等学校体育大会陸上競技
400m 第4位
菊地 亮

●第70回東北高等学校陸上競技大会
400m 第6位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第68回全会津総合体育大会
400m 第1位
菊地 亮

●第61回福島県高等学校体育大会
400m 第1位
菊地 亮

部活動大会結果報告

●平成27年度第64回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
1位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
1位
川島 尚樹 (3E)

●第70回東北高等学校陸上競技大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
川島 尚樹 (3E)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
矢部晃太郎 (3A)

●第61回福島県高等学校体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
長谷川真也 (3M1)

●第68回全会津総合体育大会
個人戦 男子ダブルス
2位
大江 成光 (3M1)

地 区	役 職	名 前	卒業年
東 京	会 長	田 中 健 一	4 2 E
	副 会 長	堀 雅 宏	3 6 E
	//	伊 藤 孝 行	3 8 M
	幹 事 長	戸 野 部 武 彦	4 0 M
	副 幹 事 長	石 綿 弘 義	3 4 T
	//	芳 賀 勝 三	3 5 L
	//	水 上 勉	4 6 M
	//	中 島 政 彦	4 1 G
	会 計 幹 事	鈴 木 邦 男	4 0 M
	//	内 川 義 則	4 3 F
	会 計 監 事	辺 見 輝 夫	3 4 K
	//	渡 部 雅 俊	4 4 M
	常 任 幹 事	猪 俣 和 男	4 1 T
	//	五十嵐 清 三	3 3 K
	//	渡 辺 満	3 6 K
	//	齋 藤 博 正	3 7 K
	//	石 本 清 八	3 9 K
	//	山 田 利 廣	4 3 K
	//	高 木 博 康	4 4 K
	//	秋 山 利 光	3 1 C
東 海	//	板 橋 順 一	4 0 D
	//	伊 藤 龍 吉	3 6 A
	//	坂 本 栄 正	4 0 A
	//	杉 山 正 行	4 0 A
	//	内 芝 良 吉	4 6 A
	相 談 役	佐 瀬 一 信	2 6 E
	顧 問	中 村 伊 佐 夫	3 0 E
	//	羽 生 辰 喜	3 1 A
	//	鈴 木 力 夫	3 1 T
	//	平 山 充	3 1 T
	//	星 芳 雄	3 6 E
	名 誉 会 長	笠 間 忠 英	3 5 A
	会 長	浅 沼 定 雄	3 3 K
	副 会 長(会長補佐)	井 上 春 三	4 1 A
	副 会 長	遠 藤 素 弘	3 5 T
	//	山 内 憲 三	3 6 T
	//	大 竹 憲 市	3 7 A
	//	古 川 春 樹	4 1 G
	幹 事 長	早 川 茂	4 5 A
	副 幹 事 長	渡 辺 雄 三	4 4 M
//	佐 藤 勝 美	5 6 M	
//	安 部 琢 美	5 8 A	
会 計 幹 事 長	五十嵐 勉	4 8 M	
会 計 幹 事	白 石 元 隆	4 2 E	
//	中 村 訓	4 5 M	
会 計 監 査	森 俊 夫	3 5 T	
//	佐 藤 亘	4 1 K	
書 記	村 山 幹 夫	4 1 M	
//	大 野 範 章	4 3 T	
常 任 幹 事	平 栗 民 男	3 0 K	
//	渡 辺 守 勝	3 0 C	
//	星 野 勝 三	3 1 T	
//	福 地 貞 義	3 1 K	
//	浅 沼 美 幸	3 2 T	
近 畿	名 誉 会 長	渡 部 藤 雄	3 1 E
	会 長	大 竹 文 夫	3 1 C
	副 会 長	石 川 善 一	3 9 E
	事 務 局 長	本 名 雄 一	H13 E
	会 計 監 査	眞 君 雄	3 7 T
	//	安 達 ヨ シ 子	3 5 K
	常 務 理 事	黒 川 尚 吉	2 3 T
	//	荒 井 栄 彦	3 1 T
	//	秋 山 善 彦	3 3 K
	//	細 堀 辰 也	3 4 M

地 区	役 職	名 前	卒業年
近 畿	常務理事	信野 昭	35 A
	〃	小林 清	42 T
	事務局	本名 雄一	H13 E
若 松	顧問	吉田 一	20 K
	〃	坂内 茂	32 K
	〃	若狭 春	38 K
	〃	藤田 晴	40 E
	会 長 副 会 長	山岸 清	41 A
		浅田 誠	43 E
		渡部 昭	34 E
		小山 源	38 A
		菊地 良	37 E
		栗城 和	41 M
		渡部 洋	32 K
		曾根 賢	36 L
		田勢 光	51 A
		小林 清	28 A
		佐藤 松	33 K
		関場 一	33 K
		田中 祥	36 A
		二瓶 正	37 K
		近藤 義	40 E
		佐藤 信	42 M
		荒川 富士	43 M
		渡部 優	55 M
		藍澤 弘	58 A
	幹 事 長 常任幹事	渡部 恵	H06 D
		小林 毅	H12 M
		荒明 正	30 E
		安藤 昭	35 T
	〃	〃	〃
		〃	〃
		〃	〃
		〃	〃
	庶 務 会 計 監 事	渡部 恵	H06 D
		小林 毅	H12 M
		荒明 正	30 E
		安藤 昭	35 T
郡 山	顧問	荒井 久	18 T
	会 長	金田 寛	21 M
	副 会 長	福部 勝	30 M
	〃	渡部 節	16 K
	幹 事 長	藤沼 嘉	32 T
	会 計	佐藤 亨	38 C
	事務局 長	菊井 徹	58 D
	事務局	津田 進	29 K
	幹 事	泉田 和	25 C
	〃	玉木 一	38 T
	〃	佐藤 友	42 D
	〃	渡辺 寛	38 C
福 島	監 事	小柴 久	24 M
	顧問	星 栄	23 M
	〃	星 武	27 E
	会 長	二瓶 嘉	39 E
	副 会 長	細野 敏	39 E
	幹 事 長	星 秀	40 E
	常任幹事	佐藤 実	27 E
	〃	小田 信	31 M
	〃	小柴 俊	34 C
	〃	渡部 修	H01 M
坂 下	事務局	星 秀	40 E
	顧問	佐藤 政	24 L
	〃	江川 一	26 E
	〃	大堀 順	27 C
	会 長	五十嵐 一	43 A
	副 会 長	伊藤 隆	29 A
	〃	佐藤 悦	32 K
	〃	高久 俊	35 A
	〃	竹村 福	42 C
	幹 事 長	渡部 正	47 D
	副幹事長	飯塚 裕	52 T
	〃	甲斐 光	49 A
	〃	〃	〃
	〃	〃	〃

地 区	役 職	名 前	卒業年
坂 下	幹 事	武 藤 寛	45 C
	//	山 内 秀 記	44 A
	//	五十嵐 克 博	52 M
	//	遠 藤 幸 喜	59 A
	//	岡 峯 秀 樹	H06 E
	//	岡 崎 直 樹	H08 D
	//	大 堀 利 文	H11 A
	//	田 中 知 徳	H14 F
	//	谷 澤 敏 寛	H16 M
	庶務・会計	梨子本 傑	41 K
	//	鈴 木 美 保	60 A
	監 査	北 島 義 一	50 K
	//	中 島 義 喜	52 K
	事務局長	梨子本 傑	41 K
猪 苗 代	顧問	菅 沼 淳 一	36 E
	会長	山 口 一 男	37 A
	副 会 長	鈴 木 輝 男	31 L
	//	江 花 俊 和	37 T
	事務局長	江 花 祥 雄	49 G
	事務局次長	吉 田 聡	52 A
	幹 事 長	長谷川 与 一	40 E
	監 査	古 川 勇 一	48 M
	//	五十嵐 正 義	48 M
	会 計	斉 藤 憲 郎	49 G
	庶務	小松山 勲	49 A
	事務局	小松山 勲	49 A
西 会 津	顧問	山 本 幸 助	27 T
	会長	鈴 木 仁 一	21 M
	副 会 長	小 柴 龍 夫	33 M
	事務局長	飯 沢 義 広	31 M
湯 川	会長	菅 沼 章 生	29 C
	副 会 長	佐 野 常 雄	31 E
	幹 事 長	佐 野 常 雄	31 E
	会 計	星 康 生	41 M
会 津 美 里	顧問	横 山 嘉 夫	26 M
	//	渡 部 敬 守	30 K
	//	高 羽 芳 満	20 K
	会 長	栗 木 俊 昭	45 D
	副 会 長	松 本 誠	39 K
	//	水 野 俊 彦	39 K
	幹 事 長	荒 井 誠 一	49 A
	幹 事 長	平 野 光 治	40 C
	監 事	野 中 寿 勝	50 E
	監 事	兼 子 徳 嗣	31 A
	//	木 村 俊 一	48 K
い わ き	会長	大川原 昌 之	28 E
	副 会 長	上 野 哲	28 A
	//	佐 野 容 昭	32 E
	幹 事 長	梅 宮 昭 三	39 A
	計 画	矢 沢 行 恵	34 A
	//	佐々木 志津雄	37 M
	監 事	安 部 雅 信	37 L
	//	佐々木 富 市	45 A
	幹 事 長	金 子 徳 吾	36 M
	//	大 竹 忠 好	37 M
	//	関 口 祐 市	48 A
建 友 会	会長	小 山 源 昭	38 A
	副 会 長	山 岸 清	41 A
	//	弓 田 義 秋	39 A
	//	梅 宮 久 広	40 A
	//	河 野 政 昭	43 A
	//	白 井 武 男	45 A
	事務局長	菅 原 正 晴	51 A
	副事務局長	田 勢 光 夫	51 A

[illegible]

高齋小小岡五十本星永齋早滝信佐笠五十伊堀星須鈴大小金小羽芳成大渡室鈴鈴渡杉渡小上
久藤林林部嵐間井藤川沢野藤間嵐藤井藤木竹林子椋入賀田塚部井木木部本部林野
弘伸勝五男德公幸克芳健忠昭友清正利恒敏昌義辰勝道次次保
健之行夫生行明一哉教徹勇昭一英夫久治榮夫雄治孝輝昂嘉仡求勇充巳利清夫雄男清哲

[illegible]

磯藍倉山佐菊鈴伊田臼家石荒渡渡河木三内鈴佐佐野鈴五二富山三丸星二高梅梅小山滝
川澤本内藤地木藤勢井田本井部辺野鋤浦芝木木藤村木嵐瓶田岸井山瓶橋宮宮林口沢
敏弘浩和和哲光榮俊誠幸榮政國政良吉富昭光新一武孝正孝善和久義一三
郎幸二俊満彦昭也夫勤一光一夫男行夫憲吉雄市政男吉夫典市清春三武正寛広昭明男吉



ご協力ありがとうございました
来年もよろしく
お願い致します

昭 46 分 K	昭 44 分 K	昭 36 分 K	昭 35 分 K	昭 33 分 K	昭 31 分 K	昭 31 分 K	昭 23 併 M	昭 46 テ	平 19 K	平 9 A	平 5 A	平 5 A	平 3 A	平 2 A	昭 61 A	昭 60 A	昭 59 A
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------

菅中黒宮山岩伊齋村青平鈴齋杉橋渡鈴君
家村沢下口田藤藤井木野木藤原本部木島
宣竹武永信広雄秀香代史恵美正
仁勇夫久美光正二義昇一一子康晋一保彦

地 区	役 職	名 前	卒業年
建 友 会	会 計	鈴木秀一	54 A
	副 計	菊地和彦	55 A
	監 事	玉川敏彦	48 A
	//	馬場一登	H07 A
会 電 友 会	顧 問	栢森幸雄	27 F
	//	手代木徳夫	28 E
	//	山口健	29 E
	//	荒口正義	30 E
	//	西村一夫	31 E
	//	根本一雄	36 E
	//	棚木武夫	36 E
	会 長	菊地良三	37 E
	副 会 長	佐野常雄	31 E
	//	渡部昭寿	34 E
	//	成田良	35 E
	監 事	栗城隆彦	36 E
	//	長谷川与一	40 E
	会 計	近藤信行	40 E
	事務局長	白井達夫	43 E
	庶 務	鹿目忠明	40 E
	理 事	星行雄	30 E
	//	大越一郎	35 A
	//	中丸茂由	37 E
	//	藤田晴史	40 E
	//	菊地進	47 E
機 友 会	顧 問	片平寛	32 M
	会 長	栗城和夫	41 M
	副 会 長	藤藤義之	42 M
	//	渡部重三	42 F
	会 計 監 査	渡部優生	55 M
	//	鴛巢幸江	58 M

地 区	役 職	名 前	卒業年
	幹 事 長	菊 地 登 貴 雄	5 2 M
	常 任 幹 事	本 宮 淳 一	3 2 M
	//	平 山 恒 雄	3 3 M
	//	横 川 牧 雄	4 5 F
	//	武 田 芳 仁	4 7 M
	//	玉 川 誠	4 7 M
	会 計	荒 川 富士雄	4 3 M
	事 務 局 長	森 田 哲 郎	5 5 M
	学 校	渡 部 哲	5 2 M
	セ ー 友 会	名 誉 顧 問	吉 田 一 栄
//		坂 内 茂 男	3 2 K
//		坂 場 恒 雄	3 4 K
顧 問		高 羽 芳 満	2 0 K
//		橋 本 英 雄	2 1 K
//		石 井 久 夫	2 9 K
//		島 影 孝 敬	2 9 K
//		佐 藤 悦 朗	3 2 K
//		佐 藤 松 夫	3 3 K
//		佐々木 賢	3 2 K
会 長		渡 部 洋 于	3 2 K
副 会 長		関 場 一 宏	3 3 K
//		浅 沼 定 雄	3 3 K
//		板 垣 正 宏	3 5 K
//		逸 見 輝 夫	3 4 K
//		松 本 征 雄	3 5 K
//		宗 二 瓶 正 浩	5 0 K
幹 事 長		松 本 利 正	3 7 K
副 幹 事 長		青 山 孝 男	4 3 K
幹 事		松 本 誠	3 9 K
//	水 野 俊 彦	3 9 K	
//	斎 藤 幸 三	4 1 K	

地 区	役 職	名 前	卒業年
セラ友会	//	鈴 木 一 彦	4 8 K
	//	木 村 俊 一	4 8 K
	//	大 野 啓 一	4 9 K
	//	森 総一郎	5 2 K
	//	手代木 崇	H05K
	//	渡 部 祐 平	1 6 F
	会 計	箭 内 健 男	5 8 K
	//	梨子本 傑	4 1 K
	監 事	長谷川 利 彦	4 1 K
	//	古 川 義 士	4 8 K
	事 務 局 長	梨子本 傑	4 1 K
	事 務 局	大 塚 正 幸	
	//	村 田 光 夫	
	//	村 山 彰 一	
	//	大 濱 達 明	5 5 K
	//	熊 田 志 郎	
	//	藤 澤 健 一	
会 美 修 工 会	顧 問	江 桐 進 一	3 1 L
	//	片 花 光 泰	3 1 L
	//	白 井 充	4 2 L
	会 長	曾 根 賢 治	3 6 L
	副 会 長	儀 同 哲 夫	4 1 L
	//	佐 藤 勉	5 5 L
	会 計	坂 内 憲 勝	5 1 L
	//	岩 淵 浩 一	5 4 L
	幹 事 長	星 田 敏 夫	4 1 L
	事 務 局	渡 部 孝 雄	4 1 L

(平成27年10月現在)

会工同窓会本部役員

平成 27 年 10 月現在

役職名	氏 名	卒年	備 考
顧問	吉田 一栄	S20K	本部選出
会長	若狭 春生	S38K	本部選出
筆頭副会長	藤田 晴史	S40E	本部選出
副会長	田中 健一	S42E	東京会工委会会長 参与
副会長	渡部 洋子	S32K	セウ友会会長 参与
幹事長	木村 洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤 義之	S42M	本部選出
副幹事長	荒川 富士雄	S43M	本部選出 会報編集委員長
副幹事長	浅田 誠	S43E	本部選出 若松会工委会会長 参与
副幹事長	菊地 寿雄	S48D	本部選出
幹事	江花 光泰	S31L	本部選出 会報編集委員
"	佐藤 松夫	S33K	本部選出
"	渡部 昭寿	S34E	本部選出 会報編集委員
"	斎藤 四志男	S34K	本部選出
"	安藤 昭男	S35T	本部選出
"	近藤 信行	S40E	本部選出
"	長谷川 利彦	S41K	本部選出
"	武田 芳仁	S47M	本部選出
"	野中 寿勝	S50E	本部選出
"	長尾 好章	S50T	本部選出
"	菅原 正晴	S51A	本部選出
"	五十嵐 雄一	S53K	本部選出
"	渡部 優生	S55M	本部選出
"	森田 哲郎	S55M	本部選出
"	佐藤 満	S56A	本部選出
"	渡部 恵千子	H06D	本部選出
"	戸野部 武彦	S40M	東京会工委会幹事長
"	田勢 光夫	S51A	若松会工委会幹事長 会報編集委員
"	三井 正春	S41A	東海会工委会副会長
"	本名 雄一	H13E	近畿会工委会事務局長
"	藤沼 嘉典	S32T	郡山会工委会幹事長
"	星 秀明	S40E	福島会工委会幹事長
"	梅 宮 昭	S39A	いわき会工委会幹事長
"	渡部 正司	S47D	坂下会工委会幹事長
"	長谷川 与一	S40E	猪苗代会工委会幹事長
"	小島 淳一	S41E	西会津会工委会幹事長
"	佐野 常雄	S31E	湯川会工委会副会長
"	荒井 誠一	S49A	会津美里会工委会幹事長
"	白井 達夫	S43E	会工電友会事務局長
"	菊地 登貴雄	S52M	機友会幹事長
"	二瓶 正人	S37K	セウ友会幹事長
"	儀 同 哲夫	S41L	会工美修会副会長
"	五十嵐 豊夫	S26M	日立会工委会会長

役職名	氏 名	卒年	備 考
幹事	番 場 幸雄	S49C	三菱伸銅(株)鶴友会会長
"	大塚 裕一郎	S46E	昭和電工(株)会工委会会長
"	田 部 一 徳	S48C	日曹金属化学(株)会工委会会長
"	古 川 義 市	S48K	三菱伸銅(株)
"	土 井 淳	H07E	東京電力(株)猪苗代会工委会会長
会計	岩 渕 浩之	S54L	事務局
"	中 丸 淳	S55K	事務局
監事	西 村 一 夫	S31E	本部選出
"	小 山 源 昭	S38A	本部選出 建友会会長 参与
"	栗 城 和 夫	S41M	本部選出 機友会会長 参与
参 与	横 山 嘉 夫	S26M	松江春次顕彰会会長・会津美里会工委会前会長
"	田 中 健 一	S42E	東京会工委会会長 本部副会長
"	浅 沼 定 雄	S33K	東海会工委会会長
"	大 竹 文 夫	S31C	近畿会工委会会長
"	浅 田 誠	S43E	若松会工委会会長 本部副幹事長
"	金 田 寛	S21M	郡山会工委会会長
"	二 瓶 嘉 人	S39E	福島会工委会会長
"	大 川 原 昌 之	S28E	いわき会工委会会長
"	五 十 嵐 一 夫	S43A	坂下会工委会会長
"	山 口 一 男	S37A	猪苗代会工委会会長
"	鈴 木 仁	S21M	西会津会工委会会長
"	菅 沼 章 生	S29C	湯川会工委会会長
"	栗 木 俊 昭	S45D	会津美里会工委会会長
"	小 山 源 昭	S38A	建友会会長 本部監事
"	菊 地 良 三	S37E	会工電友会会長
"	栗 城 和 夫	S41M	機友会会長 本部監事
"	渡 部 洋 子	S32K	セウ友会会長 本部副会長
"	曾 根 賢 治	S36L	会工美修会会長
"	山 岸 清	S41A	若松会工委会前会長
"	星 武	S27E	福島会工委会前会長
"	大 堀 順 一	S27C	坂下会工委会前会長
"	棚 木 武 夫	S36E	会工電友会前会長
"	坂 内 茂 男	S32K	前監事
"	関 場 一 宏	S33K	前監事
事務局	渡 部 哲	S52M	事務局長
事務局	中 丸 淳	S55K	事務局次長
事務局	岩 渕 浩 之	S54L	
事務局	大 濱 達 明	S55K	会報編集委員
事務局	加 藤 義 勝	S56L	
事務局	田 中 哲	H04In	
事務局	鈴 木 武	H12A	



次回平成28年度総会は
10月の第3土曜日に開催しますので、
是非ご参加ください！

編集後記

今年も会工同窓会報が皆様から寄せられた原稿により発行出来たことを感謝申し上げます。

今年10月24・25日に行われた会工祭の記事を載せる事が出来ました。母校の様子、在校生や、同窓生の方々の現況や活躍をお知らせ出来れば、という思いです。

今後とも原稿の協力をお願いします。

同窓会会報編集委員

同窓会会報編集委員

荒川 富士雄 (昭43M卒)
江花 光泰 (昭31L卒)
渡部 昭寿 (昭34E卒)
田勢 光夫 (昭51A卒)
大濱 達明 (昭55K卒)
加藤 義勝 (昭56L卒)
田中 哲 (平4M卒)